

教養教育科目

情報と社会

沖野皓一

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会は情報化社会といわれ、さまざまな情報が送受信されている。日常生活や経済社会の中で「情報」がいかにかわり、有効な活用はどうあるべきかについて考察する。

【授業計画】

- 第1～2回 歴史に見る情報と社会
情報と文化との関係を軸に、人間社会の歴史を概観する。
- 第3回 情報がモノを造る
モノの生産が、必要性・実用性から嗜好に重点を置くようになってから、生産システムも大きく変わった。いわゆる情報化社会の生産と消費の関係について
- 第4～10回 情報の氾濫がもたらすもの
次々と繰り出される扇情的な情報や、人々の行動を先取りするような情報の氾濫の結果、私たちはかえって情報への関心を失い、情報喪失の状態に陥りかねない。情報過剰の現状を中心に
- 第11回以降 主体性確保のために
ニューメディアは多チャンネルの実現による情報の多元性を売り物にしているが、私たちにとって重要なのは、本当に必要な情報を発信・選択できる双方向性であろう。市民の側からの情報発信、メディアアクセスの現状と可能性について

【評価方法】

出席状況・試験の成績などによって総合的に行う。

【参考書籍】

講義の中で、その都度紹介する。

ジェンダーと社会2

中島美幸 山下智恵子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

本講座では、ジェンダーの視点で文学作品を分析することによって、〈女/男〉規範がどのようにテキストに織り込まれているかを読み解き、さらに、テキストがどれほど現実の女と男の生を規定してきたかを検証する。それとともに、ジェンダーの呪縛から解放されたいとして、新たな文学表現を試みる作家・作品をできるだけ多く提示する。(オムニバス方式)

(中島美幸兼任講師)「女性の表現」の観点から日本文学を歴史的に跡づける。なかでも、近代以降の女性表現については、他国の女性文学との比較もまじえつつ、読み解いていく。

(山下智恵子兼任講師)現代の文学作品を中心に、家族、母娘などの人間関係をジェンダーの視点から検証する。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 〈ことば〉とジェンダー
- 第3回 〈書く女〉の登場①
- 第4回 〈書く女〉の登場②
- 第5回 女性を描く男性作家のまなざし①
- 第6回 女性を描く男性作家のまなざし②
- 第7回 母と娘の物語①
- 第8回 母と娘の物語②
- 第9回 家族の物語
- 第10回 文学の政治性
- 第11回 文学と映像文化
- 第12回 まとめ

*第8、9回は山下智恵子担当。他は中島美幸担当。

【評価方法】

毎回の簡単な感想と、学期末のレポートを総合して評価する。

【テキスト】

教科書は使用せず、随時、プリントを配布する。

【参考書籍】

毎回の講義の際に紹介する。

日本国憲法

大嶽 浩

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本国憲法について、その成立の経過や明治憲法との比較を通じ、現行憲法の内容と主要な問題点を講義する。憲法問題における具体的事例にもふれる。

【授業計画】

1. 憲法と理想
2. 憲法と法律
3. 憲法と憲法典
4. 憲法の最高法規制 (A)
5. (B)
6. 憲法の改正
7. 直接効力説
8. 憲法裁判所
9. 公共の福祉と義務
10. 人権アラカルト

【評価方法】

試験による評価。場合によっては、レポートの追加。

【テキスト】

使用せず。プリント配布。

郷土の歴史と文化

四辻秀紀

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

東海地方は、戦国乱世の時代に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康を生んだ土地である。この歴史的風土をふまえ、愛知県を中心に郷土の歴史と文化を講義する。

【授業計画】

徳川家康は名古屋城築城にともない、家臣のみならず町家や寺社などを清須から名古屋に移転させた。いわゆる「清須越」をおこない、整然と区画割りされた町の基礎をつくり、以降名古屋は、御三家筆頭尾張徳川家の城下町として発展を遂げてきた。また上方と江戸との中間に位置する名古屋は、政治・経済のみならず、さまざまな独自の文化が進展をとげてきた。

本講では、名古屋の文化諸相と歴史を中心に言及する。

1. 文化史概論
2. 清須越と名古屋城下
- 3～7. 尾張徳川家と大名文化
義直と蔵書
宗春の時代
大名道具など
8. 城下のまつり
9. 鸚鵡籠中記にみる名古屋
10. 高力種信の著述
11. 学問と出版
12. 田中訥言と名古屋の画団

【評価方法】

出席状況とレポートにより総合的に評価する。

【テキスト】

必要に応じて資料を配布する。

生活と福祉

井戸平八郎

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間らしい生活を営むには、今日では福祉は避けられない問題である。しかし、「福祉とは何か」、「福祉はいかにあるべきか」は難しい課題である。障害者福祉や老人介護など、現代的な問題を視野に入れて福祉について学ぶ。

【授業計画】

- 第1章 福祉は誰のために
- 第2章 援助と自立
- 第3章 少子化問題と超高齢社会
 - 第1節 少子化傾向について
 - 第2節 子どもの人権は守られているか
 - 第3節 エンゼルプランをめぐる問題
 - 第4節 高齢者福祉
(ゴールデンプランと介護保険)
 - 第5節 ターミナルケアから学ぶこと
- 第4章 医療と教育と家族問題
- 第5章 バリア・フリーからユニバーサル・デザイン
- 第6章 これからの地域福祉
- 第7章 Well Being

- ※学外授業 1. 街に出て、車椅子、アイマスク利用による体験学習。(全員参加。費用なし)但し、30名を越えた時は中止。
2. 施設見学 希望者のみ。春休み中に実施。交通費(市内)を用意のこと。

※第3章以降ビデオ、スライド、OHPを利用。

【評価方法】

レポート、テストによる評価。

【参考書籍】

授業中に紹介。

こころの世界

坪井さとみ

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

極度の精神的緊張や不安をはらむ高度情報社会の時代にヒトのこころや行動の仕組みについて改めて熟考することは、将来をより豊かに生きてゆくためにも意義深いと思われる。本講義は心理学的観点から人間を理解することをめざす。

【授業計画】

簡単な心理学の実験、テスト、アンケート調査などを実際に体験しながら、心理学の基本的な内容を理解する。主に以下の領域について取り上げる。

1. こころとは何か
2. 知覚と記憶の不思議
3. 学習と思考の不思議
4. パーソナリティ
5. 発達とライフサイクル
6. 社会的行動
7. 対人関係
8. こころの健康

【評価方法】

レポートを中心に、出席状況と試験の成績から総合的に評価する。

【テキスト】

プリントを配布する。

【参考書籍】

授業中に指示する。

メンタルヘルス

舟橋龍秀

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

今、子どもから大人まで多くの人が心を病んでいるといわれます。心の病は少年期や青年期特有のものもあれば、時代や社会的要因によるものもあります。臨床的事例にふれながらメンタルヘルスについて考えます。

【授業計画】

- 第1講 心の健康とはどういうことか
- 第2講 ライフサイクルについて（その1）
- 第3講 ライフサイクルについて（その2）
- 第4講 心の病の現れ方
- 第5講 思春期・青年期の心の病（その1）
- 第6講 思春期・青年期の心の病（その2）
- 第7講 中年期・老年期の心の病
- 第8講 心と身体の関係ー心身症という病気
- 第9講 心の病と家族
- 第10講 自殺について
- 第11講 文化と心の病
- 第12講 まとめと討論

【評価方法】

講義内容に関連する課題によるレポート提出（1回）と単位認定試験の成績により総合的に評価する。

【テキスト】

大学生のための精神医学（高橋俊彦他著 岩崎学術出版社）

【参考書籍】

精神科医のノート（笠原嘉著 みすず書房）
新・精神科医のノート（笠原嘉著 みすず書房）
精神病（笠原嘉著 岩波書店）
その他授業中に紹介する図書

比較文化

文 嬉眞

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

世界にはさまざまな国家や民族があり、多様な文化が存在する。文化人類学的な見地から外国の文化や伝統・風俗を学ぶ。

【授業計画】

本講義では、主に「日本の文化」に焦点を当て考えることにする。特に、外国人（見る側）が日本という異文化（見られる側の文化）と直接接触した際、どのように評価（表現方法）・認識したかを考察し、その考察からなぜそのような評価・認識があらわれるかを分析する。そして、得られた分析によって外国人（見る側）がもつ「文化」を再分析する。すなわち、外国人（見る側）が「異文化」（見られる側の文化）を見るまなざしに関して考察することによって、自文化（見る側の文化）を再認識することになるだろう。

1. 異文化（異民族）との理解・誤解に関する一般的な概論
2. 異文化交流史における本講義の位置付け
3. 前近代の外国人（見る側）における「日本認識」および外国人（見る側）がもつ「文化」に関する考察
4. 近・現代の外国人（見る側）における「日本認識」および外国人（見る側）がもつ「文化」に関する考察

【評価方法】

1. 出席、受講態度、講義時の課題等で全体の50%を評価する。
2. 学期末レポートで残る50%を評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

【参考書籍】

授業中に指示する。

現代芸術 1

天野節子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「書道」の意義と意味を問い、名筆の鑑賞と書写の実技をする。

【授業計画】

- | | |
|----------|----------------------|
| 第1回 | 年間の授業計画と使用教本の鑑賞方法の説明 |
| 第2回～10回 | 書写の実技 |
| 第11回～最終回 | 課題を提出してその実技の結果をみる |

【評価方法】

出席状況・平常点・課題などによる

【テキスト】

ペン字テキスト・基本編・実務編・応用編（氏田菖軒著 書道教育社）

現代芸術 2

志水博子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「音楽」の意義と意味を問い、名曲を鑑賞し、歌唱をする。

【授業計画】

- | | |
|--------|----------------------------|
| 第1回 | 名演奏家によるオペラのビデオ鑑賞 |
| 第2回 | 声の出るしくみを知る |
| 第3回 | 腹式呼吸と身体のつかい方の練習 |
| 第4回 | ビデオ鑑賞 |
| 第5回 | ビデオ鑑賞 |
| 第6回 | ビデオ鑑賞 |
| 第7・8回 | ピクニックや集会でのやさしいハーモニーの楽しみ方練習 |
| 第9～12回 | 各自の課題による実技発表とアドバイス |

【評価方法】

授業内での実技演奏（各自の得意とする歌唱又は楽器の演奏、アンサンブル可）と出席状況

【テキスト】

楽譜プリントは配布

現代芸術 3

横山万里

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代芸術としての「美術」の意義と意味を問い、名画を鑑賞し、作品を作る。

【授業計画】

国宝に指定されている古い絵画あるいは日本の伝統的な絵巻のなかから鳥獣人物戯画をとりあげて日本画の表現、色彩方法を講義する。

また、授業の中で名古屋市内の美術館を訪問し、古画現代画にふれる。

- ・日本画の特徴
- ・鳥獣人物戯画の説明
- ・鳥獣人物戯画における線の強弱と動き
- ・日本画の模写について
- ・日本画の鑑賞

博物館入場料 600円程

美術館入場料 500円程

筆ペン 500円

費用 計 1,600円程度

【評価方法】

出席状況と感想文レポート（6回提出）を総合的に評価

【テキスト】

日本の絵巻6「鳥獣人物戯画」

コピーした図を見る

【参考書籍】

なし

伝統文化

四辻秀紀

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

国際化が進み、さまざまな異文化にふれる機会も多くなったが、日本の伝統文化にも目を向けることが大切だ。伝統文化の中でも芸能を中心に講義する。

【授業計画】

日本の伝統的な美意識をあらわす言葉として、「わび」「さび」「幽玄」などがよく取り上げられる。しかし一方で、11～12世紀の「風流・過差」、14世紀の文献にしばしば記される「娑婆羅」、17世紀初期の「かぶく」などといった言葉に代表される華美を好む世粧・風潮の伝統があった。これらの風潮は、既成の概念を打破り、新たな精神性を形成していく原動力にもなっていった。

本講では、この「風流・過差」、「娑婆羅」、「かぶく」と連なる精神性の系譜を、各時代の文献資料やさまざまな美術品を中心に探求していく。

1. 概論

2～6. 平安時代の「風流・過差」

- ・歌合
- ・法華八講
- ・莊嚴経など

7～8. 「喫茶往来」と「娑婆羅」

- ・闘茶と室礼など

9～11. 近世初期の風俗画と「かぶく」の美意識

- ・出雲のお国と歌舞伎図
- ・祭礼図と邸内遊楽図など

12. まとめ

【評価方法】

出席状況とレポートの成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

必要に応じ資料を配布する。

生活の化学

八代 有

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

健康で豊かな生活を維持していくには、化学の知識と活用は必要不可欠からざるものである。身近な生活に必要な化学の知識と関係について事例をあげて学ぶ。

【授業計画】

1. 栄養のバランスと健康増進を考える
2. 食品成分の化学と食品の安全性
3. ビタミンの化学的性質と病気のしくみ
4. 生活習慣の改善と疾病予防
5. 薬についての正しい認識
6. 薬が生体に影響を与える因子
7. 尿はからだの健康情報源
8. 食べ物および体内における酵素の働き
9. 話題となった環境公害
10. 生活のなかでの不思議

【評価方法】

テストおよび出席状況により総合的に判定する。

【テキスト】

テキスト使用せず、プリントを適宜配布する。

生命の倫理

加藤太喜子

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代の医学の進歩と発達によって今や人間の生命の誕生も医学よりも倫理の問題になった。現代社会が抱えている「生命」を倫理や哲学の面から考察する。

【授業計画】

次の主な項目に従って授業を展開する。

1. オリエンテーション
2. 人工授精
3. 体外受精
4. 代理母
5. 人工妊娠中絶
6. 出生前診断
7. 優生思想とは
8. よりよい自己決定権へ
9. まとめ

【評価方法】

授業への積極的参加を重視し、レポートを課す。

【テキスト】

なし。適宜資料を配布する。

【参考書籍】

生命誕生をめぐるバイオエシックス（金城清子著 日本評論社）

生命観を問いなおす（森岡正博著 ちくま新書012）

出生前診断（佐藤孝道著 有斐閣選書1634）

死の選択（森下直貴著 窓社）

スポーツ基礎

鶴原香代子

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

各種スポーツ（テニス、ゴルフ、バドミントン）をはじめ、ストレッチ体操、トレーニングなどの運動の基礎技術を習得することを目標として行う。

【授業計画】

スポーツの特性を理解し、自身の能力や体力にふさわしいスポーツ実践の大切さを認識する。

第1回 教室にてガイダンスを行う。

天候により、場所、種目の変更が考えられるが、学内の施設・用具を使用して行う。

第2回 主に、テニスを中心に展開するが、ニュースポーツ等の種目も考えている。また、ビデオによる試合観戦からルールやマナーを学ぶ。

第12回 （種目の終了時にスキルテストを実施）

【評価方法】

学習意欲（30%）、ルールの理解と技能の習得（20%）、出席状況（50%）により総合的（100%）に評価する。

【テキスト】

使用しない。

【参考書籍】

授業中に適宜指示する。

スポーツ応用

鶴原香代子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバ・ダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中講義として行う。

【授業計画】

バドミントンの基本的動作から実践的な練習をすることにより、スポーツの特性を理解し、そのスポーツに親しめるような技術と知識を身につけることを目標とする。

第1回 教室にてガイダンスを行う

第2回 導入、ラケットティング

第3回 遠くへ飛ばす

（サービスからハイクリア）

第4回 ネット際へ落す（ドロップ、ヘアピン）

第5回 攻撃に結びつけるショット

（ドライブからプッシュ、スマッシュ）

第6回 簡単シングルス・ゲーム（コート半面）

第7回 フットワークと戦術

第8回 簡単ダブルス・ゲーム

第9回 ルールの理解とダブルス・ゲームの実践

（スキルテストの実施）

最終授業まで

【評価方法】

出席状況（50%）、ルールの理解と技能の習得（30%）、グループワークと参加態度（20%）により総合的（100%）に評価する。

【テキスト】

使用しない。

【参考書籍】

授業中に適宜指示する。

表現技術科目

英文多読・速読

隈井清臣

1年表現AB・環境AB 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

- 第1回～第2回 The First Man
- 第3回 The Luncheon
- 第4回～第5回 The Red Fish-Cart
- 第6回 Gifts of the Wise
- 第7回～第8回 Singing Wind
- 第9回～第10回 Secret Agent
- 第11回～第12回 The Blue Scarab

【評価方法】

定期試験の得点70%、授業の参加状況とレポート20%、出席の状況10%を総合して評価する。

【テキスト】

New Faces of the U. K. (金星堂)

【参考書籍】

授業中に指示する。

英文多読・速読

中川直志

1年表現CD 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

- 第1回～第2回 Insulting the Neighbours ; Britain and Europe
- 第3回～第4回 The memories of Empire
- 第5回～第6回 Who Are the British?
- 第7回～第8回 British Business and the Strange Case of Doctor Death
- 第9回～第10回 The Salaryman
- 第11回～第12回 The Worship of the Individual

【評価方法】

出席状況、平常点、試験を総合的に評価する。

【テキスト】

The View from the Brits (Dennis Kiley著 金星堂)

英文多読・速読

ダイカス、ディビット・C.

1年表現EF 後期 必修 2単位

【Course Content】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【Schedule】

This course will involve students reading different types of reading materials for different purposes using various reading skills. The focus will be on developing reading speed and accuracy while reading for gist, and on building vocabulary. In part of each class students will study the same materials and practice the same skills using the class textbook. The other part of each class will be devoted to using the SRA reading laboratory materials speed reading practice at a level that suits each student's level of ability. Other materials and activities will be used to supplement the textbook and the SRA materials.

Specific decisions regarding the order in which material will be read, skills practiced, and vocabulary/structures studied will be made after a reading placement test is administered to the class.

【Assessment】

Assessment will be based on 1) attendance and participation (since most work will be done in class), 2) occasional quizzes, 3) the amount and quality of work done on the SRA materials as shown in the SRA record book students will keep, and 4) a test at the end of the semester.

【Textbooks】

To be announced.

英文多読・速読

横田裕加

1年多元AB 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

第1回 年間計画指示
第2回～第12回 テキスト(小テストを定期的に行う)

【評価方法】

出席状況、平常点、小テストの成績などによって総合的に評価する。

【テキスト】

New Century Readers (Level 1)
(Ken Methold他著 マクミランランゲージハウス)

英文多読・速読

水野江依子

1年多元CD 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

授業では、新聞、雑誌の記事、評論、文学作品等、様々な分野の英文を取り上げ、パラグラフの構成、論理の流れを理解することに重点を置く。また、ボキャブラリーを増やすことにも力を入れる。

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 エッセイを読もう(1)
- 第3回 エッセイを読もう(2)
- 第4回 評論を読もう(1)
- 第5回 評論を読もう(2)
- 第6回 英字新聞を読もう(1)
- 第7回 英字新聞を読もう(2)
- 第8回 雑誌記事を読もう(1)
- 第9回 雑誌記事を読もう(2)
- 第10回 コンピューター英語を読もう(1)
- 第11回 コンピューター英語を読もう(2)
- 第12回 文学作品を読もう

【評価方法】

出席状況、平常点、課題などによる。

毎授業ごとに、その日扱った英文に関するノートを提出してもらい、それが主な評価の対象となる。

【テキスト】

プリントを配布する。

英文多読・速読

タナー、ポール・ダニエル

1年多元EF 後期 必修 2単位

【Course Content】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【Schedule】

The goal of this course is to develop students' reading speed and comprehension and gain an understanding of English by studying a novel. Reading strategies such as context clues, skimming, scanning and prediction will be introduced. In addition to the novel *Matilda*, students will also read a variety of short passages and articles from authentic sources, such as newspapers and magazines.

- ・ Strategies of Reading
- ・ Reading for a purpose
- ・ Being an active reader
- ・ Predicting
- ・ Skimming and Scanning
- ・ Context clues
- ・ Reading a novel

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, and effort put into the course.

【Textbooks】

Matilda (Roald Dahl Puffin Books)

英文多読・速読

隈井清臣

1年環境CD 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

- 第1回～第2回 The Poet
- 第3回～第4回 French Joe
- 第5回～第6回 The Ant and the Grasshopper
- 第7回～第8回 Louise
- 第9回～第10回 The Promise
- 第11回～第12回 Mr. Know-All
- 第13回 The Judgment Seat

【評価方法】

定期試験の得点70%、授業の参加状況とレポート20%、出席の状況10%を総合して評価する。

【テキスト】

Cosmopolitans (W. S. Maugham 金星堂)

【参考書籍】

授業中に指示する。

英文多読・速読

安田千恵

1年環境EF 後期 必修 2単位

【授業の概要】

さまざまなタイプの英文を読みこむことによって、内容を早く、正確に読み取れる能力を身につける。

【授業計画】

講義の半分は、SRA Reading Laboratoryを利用し、各学生のレベルと興味に応じたカード式教材を用い独習形式の読解演習を行う。残りの半分は、クラス全体で一つの教材を使用し、語彙力の強化、文法、パラグラフの構成、論理の流れ、文化的背景等の説明、演習を行う。

- 第1回 講義目標、進行、評価方法等の提示
SRA Reading Labオリエンテーション
Placement Test

- 第2回～12回 テキストを利用しリーディング演習

【評価方法】

出席状況、平常点、試験等によって総合的に評価する。

【テキスト】

別途指示する。

リスニングⅠ

隈井清臣

1年表現AB・環境AB 前期 必修 2単位

【授業の概要】

英語を正確に聞き取れるようになるための、基礎的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

- 第1回 A Case for Detective Dan
- 第2回 Lend me Your Ears, Buy Brand X!
- 第3回 High Flyer!, This is the News
- 第4回 Take a Letter, DJ wave
- 第5回 Shopping Around, Food for Thought
- 第6回 Which Way? Travel Tips
- 第7回 Class Talk, Business is Business
- 第8回 Having a Flutter, the British Pub
- 第9回 Kidnapped!
- 第10回 Storylines
- 第11回 Burning Issue!
- 第12回 The Singer and the Song
- 第13回 Why Japan?

【評価方法】

定期試験の得点70%、授業の参加状況20%、出席の状況10%を総合して評価する。

【テキスト】

Lively Listening! (James House 金星堂)

リスニングⅠ

稲生幹雄

1年表現CD・多元AB・環境CD 前期 必修 2単位

【授業の概要】

英語を正確に聞き取れるようになるための、基礎的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

授業は、LL教室で行う。自然な速度で話される、生き生きとした英語を聴きながら、英語の音声組織や、独特のリズムに慣れ親しむための練習を積む。

テキストは、*Essential Listening 1*と*Airwaves*の2冊である。*Essential Listening 1*は“数 (Numbers)”に強くなれる教材で、自習用のCDも2枚付いているので、これを大いに活用して耳を鍛えよう。*Airwaves*のほうは、さながらドラマの台詞を思わせるような活気に満ちた英語が聴ける教材で、内容もvarietyに富んでいる。毎時間の授業は、

- (1) まず*Essential Listening 1*から始めて、
- (2) *Airwaves*で各種の練習問題に取り組みながら、
- (3) その成果や宿題の成果を小テストに反映して、
- (4) 次週の授業への予・復習のポイントを確認する

——という順序ですすめてゆく予定。半期という限られた時間内に着々と力をつけてゆくためには、受講生諸君のむらのない予習と復習が必要である。いい英語をたくさん聴いて、聴解力を養いながら、どんなにこまやかな情感や精妙なニュアンスが、ことばの音声によって表現されるかを実感して、英語という言葉の特質や、ゆたかな表現力について、理解を深めてゆくことにしよう。

【評価方法】

上の授業計画の項にも記したように、毎週授業時間内に小テストを組み込むこととし、小テストの得点の集積と、出席状況・受講状況を総合して評価する。

【テキスト】

Essential Listening 1: Working with Numbers (Dale and Linda Fuller著 Macmillan Languagehouse)

Airwaves: Developing Better Listening Skills (Dale Fuller他著 Macmillan Languagehouse)

リスニングⅠ

タナー、ポール・ダニエル

1年表現EF・環境EF 前期 必修 2単位

【Course Content】

英語を正確に聞き取れるようになるための、基礎的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【Schedule】

The goal of this course is for students to improve listening skills and increase confidence in listening to authentic English. Students will be introduced to and encouraged to apply listening strategies to improve their comprehension. Materials studied will include popular songs, TOEFL listening sections, and one full length movie. Although this course focuses on listening, other skills of speaking, reading and writing will also be a part of this course.

- ・ Listening strategies
- ・ “Shortcuts” in spoken English
- ・ Popular songs: phrasing and idioms
- ・ Test taking strategies
- ・ Listening: a movie

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, participation, and quality of work accomplished.

【Textbooks】

No textbook will be used. The instructor will provide course materials.

リスニングⅠ

安田千恵

1年多元C～F 前期 必修 2単位

【授業の概要】

英語を正確に聞き取れるようになるための、基礎的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

ビデオ、音声テープを利用し、会話、ナレーション等様々な形式、スピードの英語を聴き、理解する訓練を行う。又、聴解練習に加え、英語の音声の特徴－音変化、連結、リズム等を音読の訓練を通じて、体得し、音声面からのリスニング力の養成を計る。

- 第1回 講義目標、進行、評価方法などの提示
- 第2回～6回 音変化、連結、機能語の強形、弱形
テキストを利用してリスニング演習
- 第7回～12回 リズム、イントネーション
テキストを利用してリスニング演習

【評価方法】

出席状況、平常点、試験等によって総合的に評価する。

【テキスト】

HEADWAY VIDEO ACTIVITY BOOK
 PRE-INTERMEDIATE (Tim Falla Oxford University Press)
 CUBIC LISTENING Closing the Culture Gap
 (Timothy Kiggell, Kevin Cleary MACMILLAN
 LANGUAGEHOUSE)

リスニングⅡ

久野幸子

1年表現A～F・多元EF・環境A～F 後期 選択(表現・環境)、必修(多元) 2単位

【授業の概要】

英語をより正確に聞き取れるようになるための応用的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

リスニングⅠに引き続き、できるだけ多くの英語を聞き取る訓練を行うが、リスニングⅡでは、基礎的な能力の開発に加えて、さまざまな種類の英語を正確に聞き取る訓練も行い、より高度な英語能力の育成を目指す。また、状況の類推的判断や内容の概略的理解といった応用的英語能力の育成のためにも、時間の許す限り多くの機会を提供したいと考えている。

- 第1回 インTRODクシヨN
- 第2～6回 テキストを利用してリスニング演習
- 第7回 試験その1
- 第8～12回 テキストを利用してリスニング演習
- 第13回 試験その2 及びまとめ

【評価方法】

出席状況、平常点(予習、授業中の学習態度、小テストも含む)、試験(その1、その2)等で総合的に評価する。

【テキスト】

未定

【参考書籍】

授業中に指示する。

リスニングⅡ

平林美都子

1年多元A～D 前期 必修 2単位

【授業の概要】

英語をより正確に聞き取れるようになるための応用的な能力を、LL教材等を用いて演習形式で身につける。

【授業計画】

- 第1回 授業の説明(カセットテープ持参すること)
- 第2回～12回 テキストを用いたリスニング演習

さらに以下のことも行う。

- ・判別しにくい英語の集中的な聴き取り練習
- ・耳で聴いた表現をそのまま繰り返す練習

【評価方法】

出席状況、課題、聞き取りテストを総合して評価する。

【テキスト】

Listening to Natural English

(矢作三蔵、William Phalon編 開文社)

ライティングⅠ

ヤスダ、カレン

1年表現1~3組、環境1~6組 前期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に書いて表現できるようになるための基礎的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

Lesson 1 :	Introduction to various styles of writing
Lesson 2 :	Journal Writing
Lesson 3 :	Paragraph writing
Lesson 4 :	Introduce a three-paragraph essay
Lesson 5 :	Peer editing and revising
Lesson 6 & 7 :	Comparison essay
Lesson 8 :	Writing friendly letters
Lesson 9 :	Writing business letters
Lesson10 & 11 :	Explanatory essay
Lesson12 :	Semester review

【Assessment】

Assessment will be based on class participation, attendance and various writing assignments. No final test will be given but several written essays will be assigned.

【Textbooks】

No textbook will be used, however various handouts will be provided.

ライティングⅠ

カレン、ベヴァリー

1年表現4~6組 前期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に書いて表現できるようになるための基礎的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

Students will write a number of essays over the course of the semester, including a narrative; description; comparison; and opinion paper. The principal goal of each paper is to be interesting, and students will be urged to consider their audience as they write. Students will also be taught to consider their introduction and conclusion; the organization of their paper; and choice of words. Throughout the course, students will learn from models or examples of student writing, and be encouraged to develop their papers through peer review and thoughtful revision.

【Assessment】

Student assessment will be ongoing, and based on effort and ability, completion of writing assignments, and attendance.

【Textbooks】

No textbook is required.

ライティングⅠ

トフ、ミカ

1年多元1～6組 前期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、英語で正確に書いて表現できるようになるための基礎的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

- ・ Writing and revising papers on a variety of topics
- ・ Using the computer to write
- ・ Writing and sending e-mail

Student will be encouraged to think about their audience and to make their writing interesting for people to read, and at the same time to increase their vocabulary and knowledge of expressions through reading and through the use of dictionaries.

【Assessment】

Assessment will be based on the content of the papers written by the student, and on the amount of work a student puts into writing and improving the papers.

【Textbooks】

No textbook required.

ライティングⅡ

ヤスダ、カレン

1年表現1～6組、多元3・4組 後期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に書いて表現できるようになるための発展的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

- Lesson 1 : Introduction to various styles of writing
- Lesson 2 : Academic writing
- Lesson 3 : Library research
- Lesson 4 : Semester project
- Lesson 5 : Personal letters
- Lesson 6 : Business forms and letters
- Lesson 7 & 8 : Persuasion essay
- Lesson 9 & 10 : Book review
- Lesson 11 : Oral presentations
- Lesson 12 : Semester review

【Assessment】

Assessment will be based on class participation, attendance, and writing assignments. No final test will be given but a semester project and an oral presentation will be required.

【Textbooks】

No textbook will be used, but various worksheets will be provided.

ライティングⅡ

トフ、ミカ

1年多元1・2・5・6組 後期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に書いて表現できるようになるための発展的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

- ・ Writing and revising papers on a variety of topics
- ・ Using the computer to practise basic desktop publishing

This semester will offer practice so that students can refine their writing skills and take more responsibility in choosing a topic and developing the content.

【Assessment】

Assessment will be based on the content of the papers written by the student, and on the amount of work a student puts into writing and improving the papers.

【Textbooks】

To be announced later.

ライティングⅡ

カレン、ベヴァリー

1年環境1～6組 後期 選択 2単位

【Course Content】

自分の考えや意見を、より正確に書いて表現できるようになるための発展的な英作文の能力を、演習形式で身につける。

【Schedule】

The course will focus on the writing of personal essays. In writing their first essay, students will consider how detail makes any event vivid and memorable reading; the second essay will concentrate on description; later essays will include stories and observations. Throughout the course, students will be shown models of interesting writing, and be encouraged to develop their papers through peer review and thoughtful revision.

【Assessment】

Student assessment will be ongoing, and based on effort and ability, completion of writing assignments, and attendance.

【Textbooks】

No textbook is required.

TOEICトレーニング I

中川直志

1年表現A～D 前期 必修 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【授業計画】

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 第1回 | 授業計画指示 |
| 第2回 | 模擬試験 |
| 第3回～第7回 | 基礎演習：TOEICテストの問題構成、各セクションの解説を含む。 |
| 第8回～第12回 | 実践演習：よりレベルの高い問題に取り組む。 |
| 第13回 | 模擬試験 |
- 備考 リーディング問題については自宅で解答してくることを前提とする。リスニング問題については問題の解答とは別に英文の詳しい聞き取り練習も行う予定である。

【評価方法】

出席状況、平常点、試験を総合的に評価する。

【テキスト】

Tactics for the TOEIC Test (James Tschudy他編著 三修社)

TOEICトレーニング I

ダイカス、ディビット・C.

1年表現EF・多元AB 前期 必修 2単位

【Course Content】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【Schedule】

Students will first take a mock TOEIC test so that each person's level of ability can be judged and general weaknesses can be assessed. The actual material and order in which it will be studied will be determined after the initial test. In general, however, the approach will be to cycle through different parts of the subsections of both the Listening and Reading sections of the textbook a number of times during the course. This will allow students to become more familiar with each test section through repeated exposure.

【Assessment】

Assessment will be based on attendance and completion of exercises/activities during class and quizzes.

【Textbooks】

To be announced.

TOEICトレーニング I

水野江依子

1年多元CD・環境CD 前期 必修 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【授業計画】

授業ではTOEICのリスニングおよびリーディング、グラマーなどの演習問題を総合的に行い、TOEICで求められる英語の運用能力を高めることを目指す。また、適宜プリント教材を併用し、理解の助けとしていきたい。

- 第1回 オリエンテーションおよび模擬演習
- 第2回～第3回 基礎演習（写真描写問題、文法語彙問題、誤文訂正問題）
- 第4回～第5回 基礎演習（応答問題、文法語彙問題、誤文訂正問題）
- 第6回～第7回 基礎演習（会話問題、文法語彙問題、読解問題）
- 第8回～第9回 基礎演習（説明文問題、読解問題）
- 第10回～第12回 実践演習
- 第13回 模擬テスト

【評価方法】

出席状況・平常点・課題などによる。

【テキスト】

Tactics for the TOEIC Test

(James Tschudy他著 三修社)

TOEICトレーニング I

大野清幸

1年多元EF 前期 必修 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【授業計画】

- 第1講 授業計画指示など
- 第2講 テキストなどを利用して演習

【評価方法】

出席状況、平常点、課題などによる。

【テキスト】

LAビート：ビデオで見るロサンゼルス

(Wayne I. Phillips 朝日出版社)

TOEICはじめての勉強法 [学生編]

(Anne Akamatsu、鈴木カオル 中経出版)

TOEICトレーニング I

横田裕加

1年環境ABEF 前期 必修 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての基礎的な能力を身につける。

【授業計画】

- | | |
|----------|------------------|
| 第1回 | 授業計画指示 |
| 第2回～第6回 | テキストを利用して基礎演習 |
| 第7回 | 模擬テスト (テキスト第1章) |
| 第8回～第11回 | テキストを利用して実践演習 |
| 第12回 | 模擬テスト (テキスト第18章) |

【評価方法】

出席状況、平常点、模擬テストの成績によって総合的に評価する。

【テキスト】

Tactics for the TOEIC Test

(James Tschndy他著 三修社)

コンピュータ実技 I

ルイス、ポール 川澄未来子 鬼頭英嗣

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

文書作成ソフトや表計算ソフトなどを活用して、効果的な学術論文作成の技能を身につける。

【授業計画】

- | | |
|-----------|---------------------|
| 第1回 | パソコンの基本操作 |
| 第2回～第8回 | MS-Word入門 |
| 第9回～第10回 | MS-Excelによる簡単作表・作図 |
| 第11回～第12回 | MS-WordとMS-Excelの連携 |

ただし、第2回～第8回までのいずれかの連続する2回において、学内LANによるインターネット利用および電子メール利用に関する基本的な講習 (LAN講習) を実施する。LAN講習未受講者は、学内LANの利用が許可されないので、必ず受講すること。LAN講習の実施については、各担当者の指示に従うこと。

また、各パソコンに対応した2HDの3.5インチフロッピー・ディスクを各自2枚用意すること。

【評価方法】

出席状況、授業態度および定期試験によって評価する。

【テキスト】

必要に応じてハンドアウトを配布する。

【参考書籍】

MS-WordおよびMS-Excelの基礎的な入門書を授業内で紹介する。

総合科目

文化創造総論

篠弘

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

伝統文化の継承の問題および現代文化のあるべき姿や方向に関する具体的な問題の検討を踏まえながら、文化創造学部の基本理念「文化創造」の意義やあり方について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 概論：日本語の現在
- 第2講 各論：美しい日本語
- 第3講 各論：詩的表現
- 第4講 各論：辞典の効用
- 第5講 概論：四季と風土
- 第6講 各論：古代人の感性
- 第7講 各論：日本人の死生観
- 第8講 概論：知的好奇心
- 第9講 各論：読書と人生
- 第10講 各論：組織と人間
- 第11講 各論：ボーダレスの時代
- 第12講 各論：プランニング
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験によって、総合的に評価。

【テキスト】

必要に応じて、プリントを配布する。

表現文化創造Ⅰ（総論）

篠弘

1年 前期 必修(表現)、選択(多元・環境) 2単位

【授業の概要】

文学的ないしは創造的な文章表現を対象として、言語を媒介とする創造的行為の原理や仕組みを学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 概論：リアリズムの現在
- 第2講 各論：歴史感覚
- 第3講 各論：感性と美意識
- 第4講 各論：事実のウェート
- 第5講 各論：描写力
- 第6講 各論：身体感覚
- 第7講 概論：創造的な表現
- 第8講 各論：幻想力と想像力
- 第9講 各論：フィクション
- 第10講 各論：喩的技法
- 第11講 各論：オノマトペ
- 第12講 各論：作品上の「私」
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

出席状況と単位認定試験によって、総合的に評価。

【テキスト】

NHK短歌入門 生き方の表現（篠弘著 日本放送出版協会刊 1,300円＋税）

多元文化創造Ⅰ（総論）

皆川修吾

集中 1年 前期 選択(表現・環境)、必修(多元) 2単位

【授業の概要】

多種多様な国家・民族・地域文化の存在、それぞれが自存と共存を模索し、互いに進化し、変容している。そのプロセスを実証的且つ体系的に学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 概論1：社会科学としての多元文化論
- 第2講 概論2：思想としての多元文化論
- 第3講 各論1：国際社会の多元性
- 第4講 各論2：文化の意味
- 第5講 各論3：言葉・土と文化
- 第6講 各論4：個人、社会、国家のアイデンティティ
- 第7講 各論5：日本人と日本の社会
- 第8講 各論6：文明の意味
- 第9講 各論7：文明の優越性と対等性
- 第10講 各論8：文化・文明間の共存と衝突
- 第11講 各論9：文化・文明の変容
- 第12講 各論10：普遍的な価値体系の創出
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

単位認定試験の成績と各授業時間中のチュートリアル・タイム（20分）での質疑応答との総合評価による。

報告指名を受けて質疑応答に参加しないものは減点される。

思考法参考書籍：知的複眼思考法（荻谷剛彦著 講談社）

【参考書籍】

- 文明の衝突（S.ハンチントン著 鈴木主税訳 集英社）
- 文明の衝突か、共存か（運実重彦著 UP選書）
- 国際社会学のパースペクティブ（梶田孝道著 東大出版）
- 土と文明（V.G.カーター他著 山路健訳 家の光協会）
- 日本の思想（丸山真男著 岩波新書）
- 日本人という病（河合隼雄著 潮出版社）
- 日本という身体（加藤典洋著 講談社選書）
- 生態系から文明系へ（梅棹忠夫著作集第5巻 中央公論社）
- 文明の危機と人類史の未来（根井康之 農文協刊）

環境文化創造Ⅰ（総論）

多田萬里子

1年 前期 選択(表現・多元)、必修(環境) 2単位

【授業の概要】

現代社会が直面している環境問題を、主に生体に及ぼす影響の観点から学び、我々の生活、健康と環境の関わりについて学ぶ。

【授業計画】

- 1. 地球の生物システム
 - 生命の起源
 - 地球環境と生物の進化
 - 生物の共通性と多様性
 - 生物システムの中でのヒト
- 2. 地球環境と人の生活
 - オゾン層の破壊と紫外線の増加
 - 環境の汚染と健康
 - 内分泌攪乱物質、発癌物質など、
 - 環境要因と遺伝子
- 3. 科学技術の発展と環境問題
 - 遺伝子操作と生態系
 - 21世紀の人類の生活

【評価方法】

受講態度、出席状態、レポート、学期末テストにより総合的に評価する。

【テキスト】

使用せず。講義の要旨はプリントを配布する。

【参考書籍】

授業中に指示する。

表現文化総合講座 I

篠弘 清水良典 島田修三
西田勝 馬場伸彦 矢頭純

1年 後期 必修(表現)、選択(多元・環境) 2単位

【授業の概要】

古典文学・現代文学・現代メディア表現を対象に、主として言語に拠る表現ジャンルの創造上の現実的・実践的な諸問題を最新の情報を通してオムニバス方式で学ぶ。なお、本学専任教員島田修三教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は、以下の通り。(篠弘教授) 主として現代短歌とその展開を題材として、戦後から現代に至る歴史社会的な情況と文学的創造との関係の諸相について学ぶ。

(清水良典助教授) 主として現代小説とその批評を題材として、ポストモダン情況における新しい文学的創造の試みについて学ぶ。

(島田修三教授) 主として古代歌謡から万葉和歌を題材として、古典文学における創造の仕組みを修辭的な側面から学ぶ。

(西田勝教授) 主として近世の散文文学を題材として、古典文学における表現の特色や時代社会との相関性について学ぶ。

(馬場伸彦兼任講師) 主として現代の広告コピーや商業表現を題材として、現代の社会的構造の諸問題と上記の表現との関係について学ぶ。

(矢頭純教授) 主として新聞記事を題材として、現代社会における政治的・社会的な情報とその表現に関わる諸問題について学ぶ。

【授業計画】

第1回	講座の説明・篠弘教授講義
第2回	篠弘教授の講義
第3～4回	清水良典助教授講義
第5～6回	島田修三教授講義
第7～8回	西田勝教授講義
第9～10回	馬場伸彦兼任講師講義
第11～12回	矢頭純教授講義

【評価方法】

第1回の授業において説明する。

【テキスト】

授業中に指示する。

多元文化総合講座 I

榎田勝利 小倉千加子 杉本一直 曹述燮

1年 後期 選択(表現・環境)、必修(多元) 2単位

【授業の概要】

現代日本をとりまくさまざまな文化的事象を対象に、主として、日本と海外との交流や国際理解、現代日本文化などの諸問題をオムニバス方式で学ぶ。なお、本学専任教員榎田勝利教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は、以下の通り。

(榎田勝利教授) 国際ボランティア活動や国際協力の立場から、日本が現在直面している課題と、今後のあり方について学ぶ。

(小倉千加子教授) 現代日本文化の特徴を、ジェンダー心理学の立場から学ぶ。

(杉本一直助教授) 日本文学とロシア文学とのこれまでの関係、現状、今後の課題について学ぶ。

(チョ・スルソップ講師) 日本と韓国・朝鮮、中国とのこれまでの関係、現状、今後の課題について学ぶ。

【授業計画】

第1講	ガイダンス・国際社会と日本	榎田勝利
第2講	日本人の性意識の多層性	小倉千加子
第3講	結婚と家族意識の実態	小倉千加子
第4講	少子化・晩婚化と21世紀の日本	小倉千加子
第5講	現代日本とロシアを考える	杉本一直
第6講	ロシア・アヴァンギャルド再考	杉本一直
第7講	外国から見た日本文化、日本文学	杉本一直
第8講	韓国・朝鮮文化の源流をたずねて	チョ・スルソップ
第9講	韓国・朝鮮文化と中国文化との接点について	チョ・スルソップ
第10講	韓国・朝鮮文化と日本文化との接点について	チョ・スルソップ
第11講	日本の国際貢献・NGOとODA	榎田勝利
第12講	日本の国際貢献・NGOとボランティア	榎田勝利 まとめ

【評価方法】

レポートと授業への参加状況等により総合的に評価する。

【テキスト】

使用しない

【参考書籍】

授業開講時に指示する。

環境文化総合講座Ⅰ

多田萬里子 杉浦信彦 土田正子
棚橋昌子 楊 衛平

1年 後期 選択(表現・多元)、必修(環境) 2単位

【授業の概要】

現代社会における環境問題を主に「健康と環境」との視点を軸として、健康に生活するための環境のあり方について、オムニバス方式によって学ぶ。なお、本学専任教員多田萬里子教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は、以下の通り。

(多田萬里子教授) 環境文化総合講座Ⅰ全体のプロローグとエピローグを担当し、プロローグにおいて、講座の狙いと問題意識を明らかにする。また、本講座の1トピックスを担当し、外的環境要因と人体内部環境との関係性をホメオスタシスの観点から学ぶ。

(杉浦信彦教授) 日常生活における様々な身体的リスクへの対処法について、主に衛生科学の観点から学ぶ。

(棚橋昌子教授) 主に日常生活を取り巻く様々な次元の環境の問題を生活者の視点から学ぶ。

(楊衛平助教授) 健康な日常生活のハード、ソフトの整備を主に医学的な観点から学ぶ。

(土田正子教授) 豊かで快適な生活環境の設計について、主に衣環境の側面から学ぶ。

【授業計画】

第1講	ガイダンス：健康と環境	多田萬里子
第2講	環境要因としての水	
	1. 地球環境としての水	杉浦信彦
第3講	2. 生命と水	杉浦信彦
第4講	食生活と健康	杉浦信彦
第5講	伝統医学に見る食養	
	1. 食物の自然属性と健康	楊 衛平
第6講	2. 生活習慣病に対する伝統食養法	楊 衛平
第7講	生活環境と疲労	
	1. 疲労のメカニズム	棚橋昌子
第8講	2. 文明の発達と疲労	棚橋昌子
第9講	衣と人の生活	
	1. 衣生活と健康	土田正子
第10講	2. 現代衣生活の諸問題	土田正子
第11講	地球環境と人の生活	
	1. 環境化学物質と健康	多田萬里子
第12講	2. 生命の操作と自然環境	多田萬里子
	まとめ	

【評価方法】

各教官による評価（レポートまたはテスト）を総合して評価する。

【テキスト】

使用せず。講義の要旨はプリントを配布する。

【参考書籍】

授業中に指示する。

関連科目

日本語論

山本雅子

1・2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本語学的な観点から、日本語の成立や史的展開をたどり、現代日本語の文法や語彙又は音韻の性格について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 話者と言語
- 第2講 五感と言語表現①
- 第3講 五感と言語表現②
- 第4講 メタファーの意義①
- 第5講 メタファーの意義②
- 第6講 文法と話者①
- 第7講 文法と話者②
- 第8講 文法と話者③
- 第9講 日本語の歴史①
- 第10講 日本語の歴史②
- 第11講 話し言葉と書き言葉①
- 第12講 話し言葉と書き言葉②

【評価方法】

出席状況・プレゼンテーション・レポートによって総合的に評価する

【参考書籍】

授業中に配布、及び指示する。

国語学

広瀬英史

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

国語学的な観点から、日本語の語彙の成立過程およびその固有の性格について体系的な語彙論のもとに学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 序論1：語彙とは
- 第2講 序論2：語の単位と定義
- 第3講 序論3：語彙の元素論と総体論
- 第4講 序論4：異文化理解と語彙研究
- 第5講 各論1：語彙に体系はあるか
- 第6講 各論2：語彙の分類1（辞書）
- 第7講 各論3：語彙の分類2（シソーラス・語種・品詞など）
- 第8講 各論4：語彙の量的性質
- 第9講 各論5：土佐日記の語彙
- 第10講 各論6：ユーミンの語彙
- 第11講 各論7：比較語彙研究1
- 第12講 各論8：比較語彙研究2

【評価方法】

出席状況とレポートによって総合的に評価する。

【参考書籍】

比較語彙研究序説（田島毓堂著 笠間書院版）
日本語学（明治書院）

比較文学論

杉本一直

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

欧米と日本の近代小説を対象として、欧米からの影響関係や日本独自の展開、また欧米に与えた影響について学ぶ。

【授業計画】

- | | | |
|------|------|----------------------------------|
| 第1回 | 概論 | 20世紀の世界文学 |
| 第2回 | 各論1 | 「ラテン・アメリカ文学」
J.L.ボルヘス、J.コルタサル |
| 第3回 | 各論2 | 「アメリカ文学」
P.オースター、N.ベイカー |
| 第4回 | 各論3 | 「イタリア文学」
I.カルヴィーノ、A.タブッキ |
| 第5回 | 各論4 | 「フランス文学」
A.カミュ、P.モディアーノ |
| 第6回 | 各論5 | 「ロシア文学1」
V.フレープニコフ、V.マヤコフスキ |
| 第7回 | 各論6 | 「ロシア文学2」
E.ザミャーチン、V.ペレーヴィン |
| 第8回 | 各論7 | 「ポーランド文学」
S.レム、V.ゴンブローヴィチ |
| 第9回 | 各論8 | 「チェコ文学」
K.チャベック、M.クンデラ |
| 第10回 | 各論9 | 「亡命者文学」
V.ナボコフ、S.ベケット |
| 第11回 | 各論10 | 「日本文学1」
安部公房、芥川龍之介 |
| 第12回 | 各論11 | 「日本文学2」
村上春樹、高橋源一郎 |

【評価方法】

出席状況とレポートによって評価する。

【テキスト】

プリント配布

中国文学Ⅰ

曹 述燮

1・2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国の古典文学作品の原文をテキストとして、訓読による講読を行いながら、近代以前の中国の歴史社会状況を理解し、作品の文学的意味や価値について学ぶ。

【授業計画】

- 第1・2講：先秦文学
- 第3・4講：秦・漢の文学
- 第5・6講：魏・晋・南北朝の文学
- 第7・8講：隋・唐の文学
- 第9・10講：五代・宋・金の文学
- 第11・12講：元の文学
- 第13・14講：明・清の文学

概論に属するパートは講義・解説していくが、その他は学習者がそれぞれテキストを予習し発表する形式を取る。

【評価方法】

出席状況、授業のための準備状況、そして期末のレポートあるいはテストで評価する。

【テキスト】

中国文学史（前野直彬 東京大学出版社）

【参考書籍】

中国学芸大事典（近藤春雄 大修館書店）
中国歴史文化事典（孟慶遠主編 新潮社）など

中国文学Ⅱ

曹 述 變

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国の近代以降の文学作品の原文をテキストとして、訓読による講読を行いながら、19世紀から20世紀に至る中国の近代・現代の歴史社会的な変遷を理解し、作品の文学的な意味や価値について学ぶ。

【授業計画】

- 第1・2講：総論
- 第3・4講：近代文学の胎動期
- 第5・6講：文学革命と5・4運動
- 第7・8講：左翼文芸運動
- 第9・10講：抗日戦争の時代
- 第11・12講：人民文学の誕生と展開

概論に属するパートは講義・解説していくが、その他は学習者がそれぞれテキストを予習し発表する形式を取る。

【評価方法】

出席状況、授業のための準備状況、そして期末のレポートあるいはテストで評価する。

【テキスト】

中国文学史（前野直彬 東京大学出版社）

【参考書籍】

中国学芸大事典（近藤春雄 大修館書店）
中国歴史文化事典（孟慶遠主編 新潮社）など

伝統芸能論

安田文吉

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主として歌舞伎を対象として、伝統的な様式・作法・所作等によって成立する表現芸術の意味について学ぶ。

【授業計画】

歌舞伎・人形浄瑠璃を中心とする近世芸能は、それに先行する諸々の文化・芸能・文学を取り込んで成立している。本講義では、歌舞伎・人形浄瑠璃の成立と展開を中心に、VTRを見ながら、所作・台詞・衣裳・音楽・効果（お囃子）・大道具その他の表現方法を考え、あわせて近世芸能文化の特色を検討する。取上げる代表的作品は『けいせい仏の原』『矢の根（曾我五郎）』『助六』『勧進帳』『菅原伝授手習鑑』など。

歌舞伎の成立

歌舞伎独特の表現方法（女方・和事・荒事）

VTR：女方・和事・荒事の代表作品の鑑賞

所作・台詞・隅取り・衣裳・音楽・効果・大道具・小道具にも注意する。

和事・荒事の代表作品を構成する先行の文学作品・文化の研究

御園座の十月興行「吉例顔見世」夜の部の鑑賞と研究
上演作品の梗概と見どころなどの解説

近世芸能文化が表現するところの特色

【評価方法】

レポート試験

【テキスト】

歌舞伎入門（おうふう）

歌舞伎のたのしみ（北白川書房）

国際協力論

榎田勝利

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

台頭するアジア諸国のNGO、NPOと日本との国際文化交流・文化協力の歴史的背景および現状と課題について学ぶ。

【授業計画】

テーマ：日本とアセアン諸国の国際文化交流・文化協力講義と各学生による自由研究発表で授業を進める。

1章 総論

- 1) アセアンとは
- 2) 国際文化交流・文化協力の現状と特徴
- 3) 戦後日本の国際文化交流政策

2章 各論1－事業主体別

- 1) 総理府、2) 外務省、3) 文部省、文化庁、日本学術振興会、4) 自治省・地方自治体、5) 国際文化交流基金、6) 平和友好交流計画、7) 民間セクター（企業、民間助成財団、国際文化交流団体、国際協力NGO）

3章 各論2－事業内容別

- 1) 知的交流 2) 学術交流 3) 教育交流 4) 青少年交流 5) スポーツ交流 6) 技術協力 7) 芸術交流 8) 文化保存協力 9) 草の根交流 10) 相互理解のための交流 11) 多角的・多面的交流

【評価方法】

課題研究レポートと平常点で評価する。

学内外の国際文化交流活動への参加レポートも評価の対象にする。

【テキスト】

授業中に指示する。

【参考書籍】

国際文化交流の政治経済学（平野健一郎編 勁草書房）
国際交流入門（榎田勝利監修 アルク）
実践国際交流（大阪国際交流センター発行）
アジア・ジレンマ（青木保著 中央公論新社）
文化交流の時代へ（榎秦邦著 丸善ブックス）

外交史

皆川修吾

集中 1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

戦後日本外交史を考察し、日本外交の指向性と国際的な評価、意志決定の仕組み、そして環境問題など国際的な課題への今後の日本外交のあり方について学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 外交理論
- 第2講 外務省と外務職
- 第3講 対外政策意志決定過程
- 第4講 日本外交思想史
- 第5講 戦間期の日本外交
- 第6講 事例：日本対アジア外交・対ソ外交
- 第7講 戦後冷戦期の日本外交
- 第8講 事例：日米関係
- 第9講 冷戦後の日本外交
- 第10講 事例：地域主義と国際秩序
- 第11講 事例：日本経済外交と経済のグローバル化
- 第12講 日本外交の固有性と普遍性
- 第13講 単位認定試験

【評価方法】

単位認定試験の成績と出席状況との総合評価による。

【参考書籍】

外交（H.ニコルソン著 東大出版）
参照専門誌：
外交フォーラム（外務省編 都市出版社）
国際政治（日本国際政治学会編 有斐閣）
政治学（日本政治学会編 岩波書店）

ヨーロッパ現代史

中谷 毅

1・2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

第二次世界大戦後のヨーロッパの歴史を振り返り、現状を理解するとともに、ヨーロッパ地域の未来について学ぶ。

【授業計画】

- 第1回：2度の世界大戦とヨーロッパ
- 第2回：冷戦とヨーロッパ分断
- 第3回： 〃
- 第4回：西ヨーロッパ統合の動き
- 第5回： 〃
- 第6回：東西棲み分けの中の西ヨーロッパ
- 第7回： 〃
- 第8回： 〃
- 第9回：東欧革命とドイツ統一
- 第10回： 〃
- 第11回：ヨーロッパの今日と将来
- 第12回： 〃

【評価方法】

定期試験の成績によって評価

【テキスト】

使用しない

【参考書籍】

授業の中で指示する

英文学

平林美都子

1・2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

さまざまな文学研究方法の具体例とともに、英文学から何をどのように読み取ることができるのかについて学ぶ。

【授業計画】

- ゴシック物語とゴシック形式
- 第1回 ゴシックの概念の説明
- 第2回 メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』
- 第3回 ブラム・ストーカー『ドラキュラ』
- 第4回 C.プロンテ『ジェイン・エア』
- 第5回 オскар・ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』
- 第6回 ヘンリー・ジェイムズ『ねじの回転』
- 第7回 ゴシックと映画
- 第8回 『レベッカ』
- 第9回 『エイリアン』
- 第10回 『ミザリー』
- 第11回 『インタヴュー・ウィズ・パンパイヤ』
- 第12回 まとめ

【評価方法】

授業内レポートと単位認定レポート

【テキスト】

フランケンシュタイン (M.シェリー著 創元推理文庫)
吸血鬼ドラキュラ (B.ストーカー著 創元推理文庫)
ジェイン・エア (C.プロンテ著 新潮文庫)
ドリアン・グレイの肖像 (O.ワイルド著 新潮文庫)
ねじの回転 (H.ジェイムズ著 新潮文庫)

生活民族学

稲村哲也

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

世界の民族の生活様式や文化の多様性を認識し、固定観念にとらわれない異文化観を身につける。

【授業計画】

文化人類学の基礎となるフィールドワークの記録である「民族誌」を中心に取り上げながら、生業（採集狩猟、牧畜、農耕）、自然観、世界観、家族と親族、信仰など文化の諸側面について考察する。地域は南北アメリカ及びアジアとし、担当教員が実際に調査・取材した事例を中心に映像を用いながら紹介する。

- 1 アメリカ・インディアンから見たアメリカの歴史
- 2 先住民・少数民族とは：インディアンを中心に
- 3 多様なアメリカ・インディアンの生活と文化
- 4 メキシコの古代文明
- 5 南米アンデスの古代文明
- 6 アンデス先住民の生活と文化
- 7 日本の先住民「アイヌ」の歴史と文化
- 8 中国漢民族の生活と文化
- 9 チベットの生活と文化
- 10 ヒマラヤ高地の生活と文化
- 11 インドの生活と文化
- 12 モンゴルの生活と文化
- 13 モンゴル辺境部トナカイ遊牧民の生活と文化

【評価方法】

授業中に適宜提出してもらうショート・レポート（平常点）及び学期中に行う小テスト・課題など

【テキスト】

授業中に提示する

健康管理論

杉浦信彦

1・2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

健康の維持と増進をめざす生活習慣の確立について、食生活・飲酒・喫煙・運動習慣など健康科学の基礎の理解を通して、実践する能力を身につける。

【授業計画】

以下のテーマを中心に講義を行う。

1. ガイダンス
WHOのMagna Carta of Healthに沿って、健康の意義、現代生活における多様な健康の在り方について言及する。
2. からだのしくみ
人体を構成する元素や成分について学ぶ。特に体の主成分である水分と塩分の重要性について理解する。
3. ホメオスタシス
体の内部環境が精密にコントロールされ、生命が恒常的にメンテナンスされていることを理解する。
4. 血液のしくみと働き
血液の性状やその働きの理解を通して健康管理の基礎知識を理解する。
5. 消化と吸収
生命を支えるエネルギー源の獲得器官である消化管のしくみを理解し、生活習慣病予防に関する基礎知識を習得する。
6. 肝と腎
生命を支える肝および腎機能の重要性を理解する。

授業の進め方は講義を主に、テーマによってはVTRの視聴や標本観察なども行う予定である。

※授業中の私語は厳禁。

【評価方法】

レポート・テスト・出席により評価。

【テキスト】

使用せず。（プリント配布）

公衆衛生論

棚橋昌子

1・2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

健康の保持、増進、疾病予防の問題を中心に、公衆衛生の理論と実践について学ぶ。

【授業計画】

現代の文明社会が発展する過程のなかで、国民の健康破壊がすすみ、半健康状態が一般化していく。この視点から、各種の健康指標を検討し、事例を通して公衆衛生の課題を考える。

- 第1回 健康の定義
- 第2回 公衆衛生の歴史
- 第3回 疾病予防の歴史
- 第4回 各種健康指標の検討（1）
- 第5回 各種健康指標の検討（2）
- 第6回 国際比較 世界のなかの日本
- 第7回 文明の発展と健康被害
- 第8回 事例（1）
- 第9回 事例（2）
- 第10回 事例（3）
- 第11回 国民健康づくり対策
- 第12回 公衆衛生の課題
- 第13回 テスト

【評価方法】

テスト（持ち込み可）と受講態度の総合評価

【テキスト】

使用しない。必要に応じプリントを配布する。

【参考書籍】

- 公衆衛生学（渡辺周一編 中央法規出版）
- 国民衛生の動向（厚生統計協会編）
- 新・健康論（広田哲士著 創元社）

表現文化専攻中心科目

表現文化基礎演習

島田修三 西田 勝 清水良典
角田達朗 酒井晶代 川澄未来子

1年表現 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当するゼミ形式の少人数授業であり、表現文化に関する基本的な知識や技術を、各教員の専門分野の視点から学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 表現方法・技術に関する問題提起1
- 第3回 表現方法・技術に関する問題提起2
- 第4回 表現方法・技術に関する問題提起3
- 第5回 文献・資料の調査方法1
- 第6回 文献・資料の調査方法2
- 第7回 テーマ研究調査・演習1
- 第8回 テーマ研究調査・演習2
- 第9回 テーマ研究調査・演習3
- 第10回 テーマ研究調査・演習4
- 第11回 テーマ研究調査・演習5
- 第12回 テーマ研究調査・演習6
- 第13回 総括

授業概要の基本的な構成は上記の通りであるが、対象とする表現ジャンルは各担当教員が第1回の授業において説明する。

【評価方法】

各担当教員によって異なるが、基本的には出席状況・平常の授業における調査発表・課題レポートなどに対する総合的な評価による。

【テキスト】

各担当教員から授業中に指示がある。

【参考書籍】

各担当教員から授業中に指示がある。

映画・演劇史

ハイイ、ピーター・ブラウン

1・2年表現 後期 必修 2単位

【授業の概要】

国内・国外の映画および演劇の歴史を実証的にたどり、映画・演劇の現代表現史における役割と意味を学ぶ。

【授業計画】

世界映画形成期（1895-1932）

世界映画史は、1895年12月28日のルミエール兄弟の映画上映会に始まる。1910年代まで「映画」というものは、ほんの5-6分程度の単純なものにすぎなかった。その後次第に、技術的にも「話術」的にも発達を遂げ、本格的な芸術媒体として展開していく。

この授業では、1920年～30年代に迎えた最初の映画の黄金期に焦点を合わせて、映画芸術のように形成されてきたかを検討すると同時に、映画分析の基礎的な方法を指導する。

授業のやり方としては、映画（全体又は部分）を見終わってから教室でディスカッションを行った後、各自、次の授業までに自分の分析を短い文章（原稿用紙2・3枚程度）にまとめて提出する。

- 1) 映画以前と映画誕生
- 2) WSポーターと映画編集
- 3) DWグリフィスと本格的映画誕生
- 4) チャプリンとスラップスティック喜劇映画
- 5) ドイツ映画の黄金期
- 6) ロシア映画とモンタージュ
- 7) トーキョー映画の到来。

1)と2)は1週間ずつ、3)～7)は各2週間予定。

【テキスト】

テキストはありません。教材は適時配布します。

大衆文化論

岡本信也

1・2年表現 前期 必修 2単位

【授業の概要】

主として近代・現代における日本の大衆文化を具体的に示し、文化の創造に果たす大衆の役割と意味を学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 大衆文化の成立について。大正・昭和初期の新聞・ラジオ・映画などに現れた文化を見る。
- 第2回 モダン都市の文化現象を考える。洋装化しはじめる衣風俗、喫茶店や食堂（デパート）など。
- 第3回 戦後の大衆文化のはじまり。アメリカン・ファッションと風俗。
- 第4回 映像とイメージ。テレビと家庭電化製品の普及、マンガ、イラストの隆盛。
- 第5回 大量生産システムとデザイン。浪費され続けるデザイン。
- 第6～8回 身近な暮らしを見つめて、文化とは何かを考える。外食風俗をめぐって。身体のおしゃれをふりかえって。住み方についてなどを具体的に考えてみる。
- 第9回 現代の風俗・生活を観察することから、文化創造となる問題点を発見する。流行と習慣。
- 第10回 続いて、風俗・生活の観察から課題の設定をする。情報と日常生活について。
- 第11回 自由討議「市民文化とは何か」
- 第12～13回 テーマごとに報告（型式は随時）する。

【評価方法】

出席状況と報告書の内容によって評価する。

【参考書籍】

- しぐさの日本文化（多田道太郎著 筑摩書房）
戦後日本の大衆文化史（鶴見俊輔著 岩波書店）
超日常観察記（岡本信也・靖子著 情報センター出版局）

日本語表現法 I

梅田卓夫

1・2年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

言語による表現文化の要である文章表現における創造性と独創性を、さまざまな実践と思索を通して身につける。

【授業計画】

文章のジャンル（詩・小説・評論…）のワクを超えたすべての言語表現に共通する基本事項を学習することばとの自由で柔軟な関係を回復しながら、創造的な文章をめざして、いくつかの作品（作文）を試みる。

- 第1回 概論 表現とは何か
- 第2回 自分にしか書けないことを書くために
- 第3回 実作「最初の記憶」
- 第4回 ことばは自分の中からやってくる
- 第5回 思考の先端としての「メモ」
- 第6回 実作「水の入ったコップ」
- 第7回 〃
- 第8回 目と心と言葉と
- 第9回 文章の中の「私」
- 第10回 実作「私の出会った人物」
- 第11回 〃
- 第12回 人間を描く

【評価方法】

授業の中で制作する作品群、および期末試験によって行う。

【テキスト】

- 新作文宣言（梅田卓夫他著 筑摩書房）
高校生のための文章読本（梅田卓夫他編 筑摩書房）

日本語表現法Ⅱ

梅田卓夫

1・2年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

文章表現における創造性と独創性を、さまざまな実践と思索を通してさらに高める。

【授業計画】

ことばとの柔軟な関係を回復するトレーニングを経たうえで、創造的な文章（作品）の制作を試みる。制作経験を振り返りながら、意識の働きと技法の両面において普遍的法則を探り当てることをめざす。

- 第1回 ことばを使う自由と不自由
- 第2回 実作「ことばあそび」
- 第3回 演技することばたち～作品としての文章
- 第4回 「メモ」の本質
- 第5回 実作「街の断片を拾う」
- 第6回 一般概念からの脱却
- 第7回 実作「一瞬をすくう」
- 第8回 感性をみがく～レトリックと認識
- 第9回 文章は断片によって輝く
- 第10回 実作「もう一人の自分」
- 第11回 〈私〉の多重化
- 第12回 まとめ 創造的自己表現を楽しむ

【評価方法】

授業の中で制作する作品群、および期末試験によって行う。

【テキスト】

新作文宣言（梅田卓夫他著 筑摩書房）

高校生のための文章読本（梅田卓夫他編 筑摩書房）

多元文化専攻中心科目

多元文化基礎演習

榎田勝利 久野幸子 稲生幹雄 小倉千加子 大野清幸 平林美都子
カレン、ベヴァリー 宮田スザンヌ 杉本一直 中郷慶 曹述賢

1年多元 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当するゼミ形式の少人数授業であり、多元文化研究の基礎となる文献検索法や、レポート作成の基礎的な知識を学ぶ。

このうち、大野清幸助教授は、主として人間の言語獲得における発語資料をデータとして指導する。

宮田Susanne助教授は、主として言語獲得論の立場から、言語学の初歩的な問題を提示し、その調査や発表を通して研究の基礎的な方法を指導する。

中郷慶専任講師は、主としてインターネット上での言語資料の入手や、コンピュータを用いた初歩的な言語分析を題材として、文献の検索やレポート作成の基本を習得させるための実践的な訓練を行う。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 問題の把握1
- 第3回 問題の把握2
- 第4回 文献検索・データ収集法1
- 第5回 文献検索・データ収集法2
- 第6回 文献検索・データ収集法3
- 第7回 テーマ研究演習1
- 第8回 テーマ研究演習2
- 第9回 テーマ研究演習3
- 第10回 テーマ研究演習4
- 第11回 テーマ研究演習5
- 第12回 テーマ研究演習6
- 第13回 まとめ

授業の概略は、上記のようなものになるが、具体的な内容については、各担当者が第1回の授業で説明する。

【評価方法】

出席状況、受講態度、プレゼンテーション、課題レポートなどによって総合的に評価する。詳細は各担当者が第1回の授業で説明する。

【テキスト】

各担当者から指示がある。

【参考書籍】

各担当者から指示がある。

英語表現法 I (通訳1)

難波豊子

1・2年多元1~4組 後期 選択 2単位

【授業の概要】

スラッシュ・リーディングやノートテイキングなどの通訳基礎技能を中心に、英語表現法を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

- 第1回 通訳とは？
通訳の為の勉強方法概略紹介
- 第2～5回 英文スラッシュ・リーディング練習
フォロー、リプロダクションのリスニング基礎練習
- 第6～8回 実践演習
- 第9～10回 日本語→英語の基礎練習
- 第11～12回 逐次通訳練習まとめ
英語→日本語、日本語→英語

【評価方法】

日常の授業態度、宿題に対する姿勢、単位認定試験などにより、総合的に評価

【テキスト】

毎回プリント配布

英語表現法Ⅰ（通訳Ⅰ）

中村幸子

1・2年多元5・6組 後期 選択 2単位

【授業の概要】

スラッシュ・リーディングやノートテイキングなどの通訳基礎技能を中心に、英語表現法を演習形式で学ぶ。

【授業計画】

通訳者養成のための訓練法を利用して効果的に総合的英語コミュニケーション能力を向上させることを授業の目的とする。

通訳とは、話された内容をまず自分が理解し、咀嚼し、それを自分の言葉で第三者に伝えることであり、何よりも正確な理解力が求められるとともに、情報を正確にかつ聞き手にとってわかりやすく聞きやすい形で訳さなければならない。さらに、通訳はコミュニケーションを成立させることである、との観点から、柔軟な英語表現力を養うことも重視する。

国内・世界の情報を通訳訓練のトピックとしてリアルタイムで採用するため、固定テキストは使用せず、授業内で随時指示していく。語彙の定着をはかるため毎授業で小テストを行う。

- 第1回 通訳訓練法の概要
- 第2回～4回 社会・文化的なトピック
- 第5回～8回 国内の政治・経済的なトピック
- 第9回～11回 海外の政治・経済的なトピック
- 第12回 まとめ

【評価方法】

出席状況、受講態度、小テスト、単位認定試験の成績などを総合的に評価する。

【テキスト】

授業中に指示する。

環境文化専攻中心科目

環境文化基礎演習

多田萬里子 杉浦信彦 永田忠夫
棚橋昌子 高橋啓介 若松孝司

1年環境 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当するゼミ形式の少人数授業であり、環境文化研究の基礎となる文献検索法やレポート作成の基礎的な知識を学ぶ。

【授業計画】

- 第1講 オリエンテーション
- 第2講 講義活用法1
- 第3講 講義活用法2
- 第4講 文献検索法1
- 第5講 文献検索法2
- 第6講 文献検索法3
- 第7講 テーマ研究演習1
- 第8講 テーマ研究演習2
- 第9講 テーマ研究演習3
- 第10講 テーマ研究演習4
- 第11講 テーマ研究演習5
- 第12講 テーマ研究演習6

なお、第7講から第12講は、各自が設定したテーマに関する文献研究を実施し、それをレポートにまとめる。

【評価方法】

出席状況、講義への取り組みおよび各自が設定したテーマに関する文献研究のレポートを総合的に評価する。

【テキスト】

大学生の学習テクニック（森靖雄著 大月書店）

【参考書籍】

論文・レポートのまとめ方（古都廷治著 ちくま新書）
理科系の作文技術（木下是雄著 中公新書）

2～4年次開講科目

教養教育科目

日本の文学

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本の文学の歴史をふまえながら、代表的な文学作品を紹介し、観賞する。若い世代の文学への関心が薄らいでいるといわれる今、文学への興味と関心を喚起したい。

英米の文学

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

文学作品にはそれぞれの国の文化が反映している。主に20世紀の英米の文学の思潮をたどりながら、伝統的な英国文学や移民の国として新しい文化を作った米国文学を中心に考察する。

中国の文学

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国の歴史と文化は古くかつ深い。日本はその影響を大きく受けてきたが、特に文学は顕著であった。中国の代表的な文学作品を紹介し、鑑賞する。

ジェンダーと社会1

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会において女性と男性の社会的関係は変容しつつある。男女が共に社会参画をして初めて社会における平等が確保できる。この視点から現代社会におけるジェンダー（社会・文化的性）のさまざまな問題を指摘し、検討する。

都市と環境

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代の都市は生活と文化の面では便利であり、快適であるが、街の緑や空気汚染など、自然環境には恵まれているとはいえない。都市をとりまく自然環境の問題を中心に講義する。

メディアと文化

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

情報化社会の発達と技術の進歩でさまざまなメディアが新しい文化を生み、伝達する。文化の創造の伝達とメディアの関わりを考察する。

国際情勢

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

冷戦終結後の国際情勢はますます混沌とし、経済的な危機を招き、やがて社会的混乱も生じかねない状態である。海外の政治と経済事情をふまえた国際社会の現状について述べる。

暮らしの経済

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

生活に密着した経済学の入門。特に今や経済社会もグローバル化しており、国際経済の流れや仕組みにもふれ、日常化している経済用語を解説する。

ことばの世界

2～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日常生活において、ことばによるコミュニケーションは、言語的な意味だけでなく、社会的な意味においても行っている。

ことばによる社会的な意味のちがいを地域、社会的階層、性差、年齢などを軸にして考えてみたい。

外国の言語と文化1

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の初歩を学ぶとともに中国の風土・歴史・文化について理解を深める。

ビジネスの世界

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

21世紀を迎え、いわゆる日本型雇用システムや商慣習は崩壊しつつあるが、ビジネスの世界には、企業を維持・発展させるための企業の倫理や厳しい現実がある。企業での経験をふまえ、ビジネス世界の現実を講義する。

外国の言語と文化2

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国・朝鮮語の初歩を学ぶとともに、朝鮮半島の風土・歴史・文化について理解を深める。

外国の言語と文化 3

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の初歩を学ぶとともに、ロシアの風土・歴史・文化について理解を深める。

外国の言語と文化 6

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

スペイン語の初歩を学ぶとともに、スペインの風土・歴史・文化について理解を深める。

外国の言語と文化 4

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

ドイツ語の初歩を学ぶとともに、ドイツの風土・歴史・文化について理解を深める。

文章表現論

2～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

「自分にしか書けないことを誰にもわかるように書く」ことを目標として、文章表現に必要な基本的事項を実践例をふまえながら学習する。

外国の言語と文化 5

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

フランス語の初歩を学ぶとともに、フランスの風土・歴史・文化について理解を深める。

女性学・男性学

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

男女についての定説化した知識、それによって作り出された役割、人格の内部に及ぶ性別化の影響とその結果生まれる病理などについて、さまざまな事例や理論を紹介し検討する。

エコロジー

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

今や地球規模で自然の環境破壊が進んでいる。自然を保護し、環境を守る観点から地球のエコロジーを考える。

食品の科学

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

基礎的な科学と食品の科学との関わり、食品のもつ機能や性質、貯蔵などを学び、食品と酸素の関係や化学物質としての理解を深め、多様化した食生活や加工食品の氾濫の中で生活に役立つ講義をする。

アジアの生活と文化

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本は生活も文化もアジアの影響を強く受けている。特に日本と歴史的にも関係の深い近隣の国を中心にアジアの生活と文化を講義する。

生き物の世界1

2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

地球上には多種多様な植物が生存しているが、これらの植物は食物連鎖の基本を成すものである。植物の生物界における位置付けや植物の成育地について紹介し、植物と人間との関わりについて認識を深める。

生命の科学

2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

動物の生命の誕生、生体を構成する物質や生殖と遺伝の仕組みなど、動物の生命の維持のメカニズムについて学ぶ。

生き物の世界2

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

身近に見られる昆虫や鳥などの生態のメカニズムを解説し、生命の進化について学び、動物への関心といたわりを深めたい。

人類と宇宙

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

宇宙観の始まり、星の生と死、地球の生成と進化など、日進月歩の宇宙の科学の課題をふまえつつ、人類にとっての宇宙についても考察する。

健康とくすり

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代は飽食の時代といわれ、運動不足やストレス過多のため薬品の助けがなければ健康の維持が難しい。薬品についての正しい知識を学び、薬品への依存性や副作用について理解を深める。

数学の世界

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

我々は日常、知らず知らず近代数学の成果を利用してゐる。ここでは初歩的、あるいは基本的な数学の各手法を解説して概念を理解させたあと、各手法について応用例を挙げて、改めてこれらの恩恵を実感する。例としては、計算機における2進法の利用、極限值、微分の概念、対数の利用、保険計算における確率などがある。

ライフサイクルと健康

2~4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間は年齢に伴い体型も変化し、健康も害しやすくなる。ライフサイクルに合わせた運動と健康の維持について身近な問題をとりあげて講義する。

健康と医学

2~4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本はますます高齢化社会に入り、人生80年の時代になった。しかし、長生きするための健康は自分で管理し、自立自助によって初めて達成される。健康を保ち、命を守り育てるにはどうすればよいか。医学の立場から、病気と健康について講義する。

スポーツ文化論

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

スポーツが文化であることを歴史的・社会的事実から論証し、さらにスポーツの生成・発展・衰退に関する諸要因（政治・経済・産業・社会・教育・科学・宗教・地理的環境等）について考え、現代社会における「人間性復権」への道程を展望する。

表現技術科目

実用日本語演習Ⅰ（生活実用文）

2・3年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

日常生活における手紙・挨拶文・依頼文・案内文等の実用的な文章表現の、基本的な形式と表現を演習形式で学ぶ。

実用筆記演習Ⅱ（速記）

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

速記方式という実用的な記号の体系の基礎を演習形式で学び、日常生活において速記を応用する技術を身につける。

実用日本語演習Ⅱ（商業文）

2・3年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

商店・企業・官公庁等における報告書・依頼文・案内文等の文章表現の実践的な知識と技術を演習形式で学ぶ。

実用筆記演習Ⅲ（書道）

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

行書体、草書体、隸書体、篆書体といったさまざまな書体やその芸術性を演習形式で学び、各書体の基本的な書法を身につける。

実用筆記演習Ⅰ（習字）

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主として楷書体のひらがな・漢字の正確で美しい書法を演習形式で学び、習字の基礎を身につける。

ディベート入門

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

討論・議論における効果的な論理の展開や修辞法、相手の論理や趣旨の理解や検証の方法等を演習形式で学ぶ。

クリエイティブ・ライティング

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

創造的な文章表現の実践的な知識や技術を演習形式で学ぶ。

英語発音トレーニング

3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本人が英語を話したり読んだりするときに誤りやすいリズム、イントネーション、発音の問題などに留意し、学生のレベルに合わせてながら、演習形式で英語の発音訓練を行う。

英会話Ⅰ

2年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

自分の考えや意見を、英語で正確に伝達できるようになるための、基礎的な能力を、演習形式で身につける。

TOEICトレーニングⅡ

2年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

就職などでも考慮されることが多い英語検定試験TOEICに向けての発展的な能力を身につける。

英会話Ⅱ

2年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

自分の考えや意見を、より正確に伝達できるようになるための発展的な能力を、演習形式で身につける。

TOEICトレーニングⅢ

2年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

TOEIC形式の問題に万全に対処できるように、英語の総合力をさらに高めることを目標に学ぶ。

時事英語

3年 前・後期 選択(表現・環境)、必修(多元) 2単位

【授業の概要】

新聞・雑誌・衛星放送などの各種メディアでの英語ニュースを理解する能力を身につける。

韓国・朝鮮語Ⅰ

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国・朝鮮語の初級講座として、文法・読解を中心とする基礎的な能力を、演習形式で身につける。

上級英会話

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

さらに自分の英会話力を高めたいと希望する学生が、特別編成クラスで演習形式で学ぶ。

韓国・朝鮮語Ⅱ

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国・朝鮮語の中級講座として、作文・会話を中心とする応用的な能力を、演習形式で身につける。

上級ライティング

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

さらに自分の英作文力を高めたいと希望する学生が、特別編成クラスで演習形式で学ぶ。

韓国・朝鮮語Ⅲ

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

韓国・朝鮮語の上級講座として、理解する力と表現する力をさらに向上できるように、演習形式で学ぶ。

中国語Ⅰ

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の初級講座として、文法・読解を中心とする基礎的な能力を、演習形式で身につける。

ロシア語Ⅰ

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の初級講座として、文法・読解を中心とする基礎的な能力を、演習形式で身につける。

中国語Ⅱ

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の中級講座として、作文・会話を中心とする応用的な能力を、演習形式で身につける。

ロシア語Ⅱ

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の中級講座として、作文・会話を中心とする応用的な能力を、演習形式で身につける。

中国語Ⅲ

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

中国語の上級講座として、理解する力と表現する力をさらに向上できるように演習形式で学ぶ。

ロシア語Ⅲ

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ロシア語の上級講座として、理解する力と表現する力をさらに向上できるように能力を、演習形式で学ぶ。

コンピュータ実技Ⅱ

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

種々のアプリケーションソフトを有効利用して、より説得力のある文書を作成する技能を身につける。

プログラミング演習Ⅱ

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

「プログラミング演習Ⅰ」で習得した知識・技能に基づいて独自のプログラムを作成する。

コンピュータ演習（通信）

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

ネットワーク環境における様々なコミュニケーションメディアの基本的な利用技術を身につける。

プログラミング演習Ⅰ

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コンピュータの基本構造、データの表現、論理の表現を演習を通じて学ぶ。

総合科目

表現文化総合講座Ⅱ

2年 前期 必修(表現)、選択(多元・環境) 2単位

【授業の概要】

演劇・絵本・舞台芸術・映画・コンピュータグラフィックス等を対象に、主として身体・映像表現に拠るジャンルの創造上の現実的・実践的な諸問題を最新の情報、ビジュアルな資料等を通してオムニバス方式で学ぶ。なお、本学専任教員酒井晶代助教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は、以下の通り。

(たかべしげこ兼任講師) 主として演劇を題材として、演技する者における脚本の解釈、役作りの方法といった実践的な諸問題について学ぶ。

(酒井晶代助教授) 主として絵本を題材として、文字と絵画の運動に拠る創造的表現の特質やそれが子供に及ぼす影響の諸問題について学ぶ。

(角田達朗助教授) 主として舞台芸術を題材として、演劇空間を創造する多様な意匠や技術の特色や効果について学ぶ。

(川澄未来子講師) 主としてコンピュータグラフィックスを題材として、電子メディア表現の創造的特質や可能性について学ぶ。

(木全純治兼任講師) 主として映画を題材として、現代の映像表現における映画の意味や映画の表現の独自性に関わる諸問題について学ぶ。

(横村さとる兼任講師) 主としてアニメ・コミックを題材として、サブカルチャーとしてのアニメ・コミックが現代文化に果たす役割やその創造的な意味について学ぶ。

多元文化総合講座Ⅱ

2年 前期 選択(表現・環境)、必修(多元) 2単位

【授業の概要】

世界を構成しているさまざまな要素のうち、特に言語を対象に、主として、言語の文学的・文化的・言語の意味や特徴に関する諸問題をオムニバス方式で学ぶ。なお、本学専任教員久野幸子教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は以下の通り。

(久野幸子教授) 多元文化総合講座Ⅱ全体のプロローグとエピソードを担当し、プロローグにおいて、講座の狙いと問題意識を明らかにする。また、本講座の1トピックを担当し、イギリス文学を題材に、イギリス文学の言語的特徴、歴史、ヨーロッパ地域や世界におよぼした文化的影響について学ぶ。

(稲生幹雄教授) 英米演劇を題材に、その成立や伝統、英米文化におよぼした影響について学ぶ。

(平林美都子助教授) カナダ文学を題材に、カナダ文学の言語的特徴、歴史、北米地域や世界におよぼした文化的影響について学ぶ。

(大野清幸助教授) 主として、日本語と英語を対象に、人間の言語獲得の特徴に関する初歩的な問題を学ぶ。

(宮田 Susanne助教授) 異文化間の人間のコミュニケーションの際に生じる問題を取り上げ、その原因の一つとして考えられる親子の接し方の問題を、主として会話のスタイルの文化差を分析しながら学ぶ。

(中郷慶講師) 生成文法理論の枠組では、人間の言語獲得のシステムをどのようにとらえているのか、普遍文法と個別文法概念などを解説し、言語に対する新しい見方を学ぶ。

環境文化総合講座Ⅱ

2年 前期 選択(表現・多元)、必修(環境) 2単位

【授業の概要】

現代社会における環境を1つの文化として捉え、「生活と人間」との視点を軸として、人間性豊かな生活文化のあり方について、オムニバス方式によって学ぶ。なお、本学専任教員永田忠夫教授が本講座のコーディネーターとなり、各講義の調整及び試験の評価に関する責任を負う。各担当者の講義概要は以下の通り。

(永田忠夫教授) 環境文化総合講座Ⅱ全体のプロローグとエピソードを担当し、プロローグにおいて、講座の狙い、問題意識を明らかにする。また、本講座の1トピックを担当し、ストレスがもたらす様々な心理的問題を主に臨床心理学の観点から学ぶ。

(Paul Lewis講師) マルチメディアの急速な進歩が、今日の情報社会の環境に及ぼす影響について学ぶ。

(高橋啓介助教授) 外的環境の知覚・認知処理の様式や特性を心理学の観点から学ぶ。

(若松孝司講師) 開発に伴って生じる多様な生活・文化に関わる環境問題を、国際開発論の視点から学ぶ。

(渡辺達兼任講師) より快適で豊かな住環境のデザインやコーディネイトの方法について学ぶ。

(杉浦淳吉兼任講師) 環境問題を、主に地域固有の特性と関連づけて理解し、その解決策について学ぶ。

文化創造ワークショップⅠ

4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

各自で立案し設定した卒業研究のテーマが、当該専攻を越えて複数の専攻にまたがる学生のために開設する科目であって、専攻を越えた複数の専任教員の共同指導のもとに、各自のテーマを深める。

文化創造ワークショップⅡ

4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

前期の「文化創造ワークショップⅠ」の内容を後期において継続的に開設する科目であって、専攻を越えた複数の専任教員の共同指導のもとに各自の卒業研究テーマを完成させる。

関連科目

詩学

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主として日本の詩作品を対象とし、詩の本質や詩の言葉の構成等に関する批評的読解の方法について学ぶ。

中国思想史

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主として儒教思想の成立と展開をたどり、中国社会および周辺諸国に儒教の果たした役割と意味について学ぶ。

日本文学史Ⅰ

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

明治から大正、昭和初期に至る日本の近代文学の史的展開を、主として詩歌の視点からとらえ、近代文学史の諸問題を学ぶ。

児童文化論

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

児童文化といわれる具体的な事象を対象文化財として、広く子供の文化を形成している原理を探り、その価値と意味について学ぶ。

日本文学史Ⅱ

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

「日本文学史Ⅰ」における「近代文学史」を受け、第二次世界大戦前後から現在に至る現代文学史の諸問題を、主として詩歌の視点から学ぶ。

演劇文化論

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主として歌舞伎・浄瑠璃等の日本の演劇を対象として、演劇が歴史的に果たして来た文化的な意味や価値について学ぶ。

演出論

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

演劇や映画において果たす演出の意味や機能を検討し、具体的な作品に即して演出の実際について学ぶ。

出版文化論

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

急速に変化する情報社会において、出版が直面する多様な問題・現代文化との関連・影響関係について学ぶ。

映像文化論

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主として映画作品を対象として、映像が作品のストーリーやテーマを効果的に具象化する原理や仕組みについて学ぶ。

マスメディア

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主としてテレビというマスメディアの現代社会において果たす意味や役割、その可能性について学ぶ。

声楽

3・4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

人間の身体を楽器として成立する最古の音楽である声楽を題材として、発声の基本的メカニズムやさまざまな唱法を具体的な音楽資料に基づきながら検討し、その芸術的特徴を学ぶ。

国際政治学

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

冷戦時の国際権力政治構造から相互依存の国際体系へ移行するなかで、国家の存在意義と、民主制や市場経済のグローバル化、国際秩序形成過程等を学ぶ。

フェミニズム概論

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

よりよい社会を形成する一助とするために、女性と男性のあり方とさまざまな問題点を学ぶ。

文化人類学

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

国際社会での人間理解の一助とするため、人間の身体構造から民族の慣習などの文化的側面まで、人間をさまざまな角度から学ぶ。

民主主義と人権

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

多元化する今日の文化状況の中で、異文化接触時に生じる様々な問題を、特に憲法における基本的人権の観点から検討し、その解決の方途について学ぶ。

異文化コミュニケーション

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

異文化接触場面の具体的事例を取り上げ、「文化」に対する意識を高める。さらに、異文化間の人間のコミュニケーションで生じる文化差を背景とした問題を、主として言語の特性の相違を分析することを通じて学ぶ。

アジア現代史

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

第二次世界大戦後のアジアの歴史を振り返り、現状を理解するとともに、アジアの未来について学ぶ。

英文学史

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

英文学の歴史において、さまざまな作家と作品が、英語文化に及ぼした影響について考察し、英語文化をより深く学ぶ。

英語学概論

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

英語のもつさまざまな言語学的特徴を、主として統語論と意味論を中心に学ぶ。

環境保護論

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

環境因子が人を含めた生態系に及ぼす影響について学ぶ。特に癌・免疫・生殖に関わる化学物質についての知識を得、人体と環境の保護に関する問題解決のための実践的な方途について学ぶ。

意味論

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

英語を中心として、さまざまな文が持つ意味とその用法を言語学的な立場から理論的に学ぶ。

南北問題

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

先進国・途上国間、途上国相互間の経済格差を生む構造について理解し、それらに対処して、国際的なレベルでの豊かな生活文化を創造するために、各国・国際諸機関の果たす機能について学ぶ。

環境生態学

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

人間の生産・消費活動により引き起こされる地球環境要因の汚染や破壊に伴う生態系の危機の現状を理解し、生態系との共生のための人間文明のあり方について学ぶ。

地域協力機構研究

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

国際機関が地球規模での人間的豊かさをもつ文化を創造するために、世界の各地域の開発と発展に果たしてきた政治的、経済的機能と今後の姿について学ぶ。

現代都市文化

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

教育環境や文化環境としての現代都市の現状をレポート・タビュの方法を通して分析し、その問題点と改善の方向について学ぶ。

ファッション・コーディネート

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

快適な服装や衣生活の心理的・社会的要因について分析し、服装に関する新しい知識を身につけるとともに、装いに関するコーディネートの基礎理論を理解し、美的選択眼と構成力を実践的に身につける。

電子メディア論

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会の特性である電子メディア社会の側面が我々の生活文化に対して有する問題点と可能性について主として語学教育の場面を対象に学ぶ。

高齢化社会論

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

来るべき高齢化社会に向けて、健康で豊かな生活を実現するための方法とその実践を東洋医学の視点から学ぶ。

マルチメディア研究

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

今日の情報環境の問題を、語学習得に際してのマルチメディアの技術に焦点を当てて学ぶ。

保健福祉論

3・4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

保健と福祉の統合化という社会動向を踏まえつつ、保健福祉の考え方、方法論、実践例等について学ぶ。

家族関係論

2・3年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

家族関係の分析方法と家族内の人間関係査定法とを学び、それによって様々な家族関係を具体的に学ぶ。

表現文化専攻中心科目

表現文化創造Ⅱ（小説）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本の現代小説作品を対象として、近代小説以来の理念および様式を再検討し、世紀末社会の多様な課題と切り結び得る新しい小説表現の方法を学ぶ。

東洋医学

2・3年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

東洋医学の特性とその可能性について、特に西洋医学との比較において学ぶ。

表現文化創造Ⅲ（児童文学）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本を代表する近代・現代の児童文学作品を取り上げ、児童文学のもつ基本的主題の変遷や変容をつぶさに検討し、「子供の文学」創造の諸問題を学ぶ。

現代マナー論

3年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

人間関係を円滑に親和化する基本的な礼儀作法や挨拶を演習形式で学び、成熟した社会人としての良識を養う。

表現文化創造Ⅳ（詩歌）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主として現代短歌を題材として、「第二芸術論」以降の戦後短歌の革新、前衛短歌の試行、ポスト前衛の多様な展開といったプロセスを史的にたどりながら、短歌の創造と時代・社会との密接な相互関連性を学ぶ。

表現文化創造Ⅴ（戯曲）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本現代戯曲の代表的作品を対象として、現代を劇的に表現する戯曲のさまざまな特質を踏まえ、新しい戯曲表現の創作に関する諸方法について学ぶ。

言語表現Ⅱ（古典詩歌）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

『万葉集』の和歌を対象として、中国文学の受容、律令国家成立との関連、民俗的慣習や祭祀からの影響といった多様な視点を踏まえながら、古代和歌の成立およびその特質について学ぶ。

表現文化創造Ⅵ（広告・コピー）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

サブカルチャー領域にあるとされてきた広告コピーにおける表現の諸相を実際の作品に触れながら検証し、大衆文化と不可分でありながら、それを超越する言語表現としての新しい広告コピーの創造について学ぶ。

言語表現Ⅲ（近代小説）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

明治・大正文学を代表する小説を史的に展望しながら、日本の近代小説が時代・社会の問題とどのように切り結んだかという問題を検証し、近代小説における典型的な主題やモチーフを作品に即して学ぶ。

言語表現Ⅰ（古典散文）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

近世の古典散文作品を対象として、前代の和歌、物語、随筆といった伝統文学や江戸市民文化との関係を検討しながら、近世散文独特の主題や様式について学ぶ。

言語表現Ⅳ（現代小説）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

高度経済成長後の日本の現代小説を取り上げ、現代の日本社会が抱える困難な問題を小説がどのように吸収し作品化しているか、あるいはどのように現代という時代を超える試みをしているか、といった点について具体的に学ぶ。

言語表現Ⅴ（現代詩歌）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

戦後から現在に至る現代詩史を踏まえ、各時代を代表する優れた詩作品を取り上げながら、現代詩における主題や様式や修辞に関する諸問題を学ぶ。

視聴覚表現Ⅲ（アニメ・コミック）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

手塚治虫作品とその影響下にある典型的な現代コミック作品や宮崎駿などのアニメ作品を題材として、アニメ・コミック作品が現代文化の中で果たしている重要な役割やその新しい芸術的性格について学ぶ。

視聴覚表現Ⅰ（映画）

2・3年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

戦後の日本映画黄金時代における代表的作品を対象として、ヨーロッパ・アメリカ映画などとの比較の視点を導入しながら、日本映画が編み出した独自の様式と美について学ぶ。

視聴覚表現Ⅳ（絵本・イラスト）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

絵本やイラストにおける絵画と言語表現との相互補完的な性格を理解し、絵画やイラストにおける想像力の問題や言語とは異なる芸術的特長といった基本的な問題を具体的作品に即しながら学ぶ。

視聴覚表現Ⅱ（舞台芸術）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

舞台は演劇の重要な構成要素だが、その歴史的展開を東西に例を取って検討しながら、演技空間あるいは場面転換装置としての舞台がいかなる芸術的機能を果たすか、あるいは果たすべきかといった問題について学ぶ。

メディア表現Ⅰ（編集・製本）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代メディアを代表する新聞や雑誌を対象として、それらがどのように編集され、完成した姿として製本されるかという具体的な課程および、その技術や方法に関する実践的な知識を学ぶ。

メディア表現Ⅱ（新聞）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主として現代メディアを代表する新聞を取り上げ、新聞ジャーナリズムが現代社会で果たす機能や課題について検討し、その具体的な紙面作りの知識や技術を実践的な視点を通して学ぶ。

表現創造原理Ⅱ（身体美学）

2・3年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

創造の過程で重要な役割を果たしている「イメージ」の構造を原理として定置し、そこから美しい身体運動が具現化される道筋を学ぶ。

メディア表現Ⅲ（ヴァーチャル表現）

3・4年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

表現文化を伝達するメディア領域の、主にコンピュータによるヴァーチャル表現の分野について、技術と方法の可能性を学ぶ。

表現創造原理Ⅲ（記号論）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

表現文化における言語と記号の構造を原理的に学んだ上で、記号論的な文化認識を深める。

表現創造原理Ⅰ（フィクション生成論）

2・3年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

表現文化における戯曲や小説等のフィクション性の成り立ちと構造を原理的に学ぶ。

表現創造原理Ⅳ（レトリック論）

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

表現文化の主に言語表現におけるレトリックについて、体系的原理的な知識と方法の可能性を学ぶ。

映像表現法

2・3年表現 前期 選択 2単位

【授業の概要】

映像による表現文化の基礎的な技術と知識を学びながら、創造性と独創性を身につける。

表現文化特殊演習

3年表現 後期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員及び兼任講師が担当し、言語表現・視聴覚表現・メディア表現の各分野から各自が選択した領域において、「表現文化講読演習」で得た問題意識や専門的知識を自己学習のレポートや習作に基づく演習によって具体化する。

身体表現法

2・3年表現 後期 選択 2単位

【授業の概要】

身体の巧みな動作によって、理念・心情を的確に表現するための知識と技術を学び、個性的表現の創造性を身につける。

表現文化研究Ⅰ

4年表現 前期 必修 2単位

【授業の概要】

「表現文化講読演習」「表現文化特殊演習」における成果を踏まえ、各専任教員及び兼任講師の個別指導のもとに各自の研究テーマや創作テーマを設定し、自己学習を深める。

表現文化講読演習

3年表現 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員及び兼任講師が担当し、言語表現・視聴覚表現・メディア表現の各分野から各自の関心のある領域を選択し、当該分野の専門的テキストや資料を通して、それぞれの専門的な知識を深め、着実な問題意識を身につける。

表現文化研究Ⅱ

4年表現 後期 必修 2単位

【授業の概要】

「表現文化研究Ⅰ」における自己学習を踏まえ、各専任教員及び兼任講師の個別指導のもとに各自の研究テーマや創作テーマの完成を目指し、卒業研究レポートとして提出する。

多元文化専攻中心科目

表現文化卒業プロジェクト

4年表現 後期 選択 4単位

【授業の概要】

「表現文化研究Ⅰ」で立案し設定したテーマないしは独自に設定した当該領域のテーマを、専任教員の指導のもとに問題意識や創造的意匠を深めながら、卒業論文ないしは卒業製作として完成させる。評価は専攻の専任教員によって行う。

言語科学

2年多元 後期 必修 2単位

【授業の概要】

言語データベースの構築や検索・分析を通して、言語獲得の問題を中心に考察することで、言語を科学的に分析することとは何かというテーマに関する基礎を学ぶ。

国際関係論

2年多元 前期 必修 2単位

【授業の概要】

共生、国際化、グローバル化、インターネット、大競争、ビッグ・バンなどがキーワードとなる21世紀の国際関係を学ぶ。

多元文化創造Ⅱ（国際ボランティア論）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

地域市民社会形成のキーワードとしての国際ボランティアとNGOの理念、目的、役割、さらに日本の現状を具体例を通して学ぶ。

多元文化創造Ⅲ（国際交流）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

国際社会の多元性は異文化間の衝突を多元・多層的に発生させている。異文化間の対話と共有できる文化創造の過程を通して近代文明の意義を学ぶ。

言語文化Ⅰ（英語表現）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

英語での作文や会話において、効果的な表現方法とは何かを考察することによって、英語という言語の持つ言語文化を学ぶ。

多元文化創造Ⅳ（イデオロギー）

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

19世紀的以降のイデオロギーの変遷を史的に検証しながら、マルキシズムが退潮しボーダレス化した現代の世界において、なお果たすべき役割や意義について学ぶ。

言語文化Ⅱ（言語解析）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日本語・英語の例を使いながら、言語解析の目的と可能性について考える。女性ことば、幼児の言語、母親の言語、第2言語話者の言語などを取り上げ、その特徴（または習得過程）をとらえるさまざまな方法を学ぶ。

多元文化創造Ⅴ（翻訳）

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

異言語・異文化間の翻訳をさまざまな側面から考察し、多元化する現代社会における文化創造過程について学ぶ。

言語文化Ⅲ（コーパス言語学）

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

英語、日本語の獲得過程を分析するための言語データベースの構築の諸問題を扱う。また、インターネットやCD-ROMで利用可能な電子コーパスの分析方法も学び、コーパス言語学を実践的に学ぶ。

言語文化Ⅳ（ヨーロッパ文芸思潮）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

20世紀ロシア文学における文芸理論や小説作品の動向および西欧社会との相互的な影響関係を分析し、ロシアを基点にした現代ヨーロッパ文芸思潮の展望を学ぶ。

外国文化Ⅱ（ヨーロッパ）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

主としてイギリスの戯曲や演劇活動にスポットを当て、その社会への影響力や社会の諸事情の反映の分析を通して、イギリス文化の在り方や性格を学ぶ。

言語文化Ⅴ（イギリス文学）

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

17世紀、18世紀から現代にいたるイギリス小説を題材として、イギリス文学と社会・歴史・風俗・生活習慣といった多様な角度からイギリス文学の特徴を学ぶ。

外国文化Ⅲ（韓国・朝鮮）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

第2次世界大戦後の朝鮮半島の文化を、主として韓国現代社会の歴史および社会の動向を通して学ぶ。

外国文化Ⅰ（北米）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

カナダ現代文化が抱える諸問題を、主として文学やフェミニズムなどの社会思潮、ヨーロッパやアメリカ合衆国との関係といった観点から学ぶ。

外国文化Ⅳ（中国）

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

文化大革命後の中国現代文化に関して、都市および農村部の生活文化の変化や刷新の様相を分析しながら学ぶ。

外国文化Ⅴ（ロシア）

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

主として文学作品を題材に、ソビエト連邦の時代からその崩壊後の現代ロシアにいたる現代ロシア文化の変遷の諸相を学ぶ。

現代文化Ⅲ（芸能文化）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

1980年代、90年代を象徴すると思われる芸能界のタレントや特徴的現象を題材として、現代日本における芸能文化の浸透とその影響の実態を学ぶ。

現代文化Ⅰ（ジェンダー）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

近代主義の終焉によって展望を見失ったといわれる現代社会の諸問題をジェンダー論の視点から分析し、新たな社会的展開の可能性について学ぶ。

現代文化Ⅳ（宗教）

3・4年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代人の心の拠り所としての宗教が抱える諸問題を、既成宗教のみならずカルトなどの新興宗教の動向なども踏まえながら、具体的に学ぶ。

現代文化Ⅱ（考現学）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

考現学の方法による社会・生活風俗の観察を通して、現代日本に混在する新旧の大衆文化とその特徴を学ぶ。

多元文化創造原理Ⅰ（言語獲得論）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

多元的な文化創造の基本の一つを言語理論の理解とする立場から、主として日本語と英語を対象に、「動的文法理論」や認知言語学などの成果に基づいて言語獲得の問題について学ぶ。

多元文化創造原理Ⅱ（言語能力論）

2・3年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

多元的な文化創造の基本の一つを言語理論の理解とする立場から、人間固有の性質である体系としての言語の使用にはどのような特徴があるのかについて学ぶ。特に、子供の言語獲得と大人の第2言語習得の事例を取り上げ、人間が生得的に持つ言語能力の本質を学ぶ。

多元文化創造原理Ⅲ（生成文法論）

2・3年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

多元的な文化創造の基本の一つを言語理論の理解とする立場から、英語のさまざまな構文を生成文法理論に基づき考察し、統語構造の特徴や規則性を学ぶ。

英語表現法Ⅱ（通訳2）

2・3年多元 前期 選択 2単位

【授業の概要】

シャドーイングや逐次通訳などの通訳基本技能を中心に、英語表現法を演習形式で学ぶ。

英語表現法Ⅲ（プレゼンテーション）

2・3年多元 後期 選択 2単位

【授業の概要】

プレゼンテーション技能を中心に、英語表現法を演習形式で学ぶ。

多元文化講読演習

3年多元 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当し、各論科目及び創造原理科目から各自の関心と選択に沿った領域を選択し、当該分野の専門的テキストや資料を通して、それぞれの専門的な知識を深め、着実な問題意識を身につける。

このうち、大野清幸助教授は、言語獲得の問題をテーマとし、言語学や言語心理学など多領域にわたる最新情報の文献を講読する。

宮田Susanne助教授は、子供の言語獲得、母親の言語、日本語第2言語習得、会話分析（第1、第2言語話者）に関する先行文献を中心に講読し、索引の使用法、図の見方、結果と解釈の見分け方などを学ぶ。

中郷慶専任講師は、最新の生成文法理論を学ぶために専門書の講読を行い、理論の枠組みの理解につとめながら、学生指導を行う。

多元文化特殊演習

3年多元 後期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当し、各論科目及び創造原理科目から各自が選択した領域において、「多元文化講読演習」で得た問題意識や専門的知識を自己学習のレポートに基づく演習によって具体化する。

このうち、大野清幸助教授は、主としてCHILDESシステムを応用した演習授業を進めていく。

宮田Susanne助教授は、「多元文化講読演習」で学んだ子供の言語獲得、母親の言語、日本語第2言語習得、会話分析（第1、第2言語話者）に関する先行研究を踏まえ、学生自身が問題を選択できるような指導する。

中郷慶専任講師は、言語を生成文法理論で分析するための理論を深く学ぶとともに、コーパスを用いた言語資料の分析についても学び、自己選択のテーマに向けての学生指導を行う。

多元文化研究Ⅰ

4年多元 前期 必修 2単位

【授業の概要】

「多元文化講読演習」「多元文化特殊演習」における成果を踏まえ、各専任教員の個別指導のもとに各自の研究テーマを設定し、自己学習を深める。

多元文化研究Ⅱ

4年多元 後期 必修 2単位

【授業の概要】

「多元文化研究Ⅰ」における自己学習を踏まえ、各専任教員の個別指導のもとに各自の研究テーマの完成を目指し、卒業研究レポートとして提出する。

多元文化卒業プロジェクト

4年多元 後期 選択 4単位

【授業の概要】

「多元文化研究Ⅰ」で立案し設定したテーマないしは独自に設定した当該領域のテーマを、専任教員の指導のもとに問題意識を深めながら、卒業論文として完成させる。評価は専攻の全専任教員によって行う。

環境文化専攻中心科目

資料収集法

2年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

研究資料を収集する技法として、主に、検査、実験、面接調査の4技法の特性を学び、それらを運用する技能を身につける。

資料分析法入門

2年環境 前期 必修 2単位

【授業の概要】

収集した資料を適切に集計・分析し、そこに含まれる複雑な情報を解析する方法を学び、正しく解釈・推論する能力を身につける。

環境文化創造Ⅱ（国際開発）

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

多様な環境問題を解決し、地球規模での人間性豊かな生活文化を創造する上で必要性が高まる国際協力の問題を、主に国際開発の観点から学ぶ。

環境文化創造Ⅲ（環境デザイン）

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代人にとって、より快適な生活環境を創出するために、環境をどのようにデザインし、コーディネートしてゆくことが好ましいかについて学ぶ。

コミュニティー環境Ⅰ（生活環境）

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日常生活を取りまく物理的、社会的、心理的環境の問題について、その地域に生活する人間を主体とする視点から理解し、現代における生活の質の向上の方途について学ぶ。

環境文化創造Ⅳ（科学技術文明と地球環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

多様な学問分野や技術を総合して、今日の環境問題を解決してゆく方途について学ぶ。

コミュニティー環境Ⅱ（地域環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

コミュニティーとしての地域における多様な次元での環境問題を現実的に理解し、主として地域住民の安全と健康を保全する実践的な問題解決の方途について学ぶ。

環境文化創造Ⅴ（色彩学）

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会の生活空間を構成する1要素である視環境について、特にそれを演出する色彩について、その心理学的側面を中心に学ぶ。

コミュニティー環境Ⅲ（民族文化）

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

種々の民族に固有の文化の特性を、その民族の様々な次元の環境との関係において学ぶ。

コミュニティ環境Ⅳ（社会システム論）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

日本の社会システムの構造的本質と、その問題点について学ぶ。

環境アメニティーⅢ（住居環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

生活環境の基本的要素の一つである「住」について理解を深め、主として人間の快適で健康的な生活を保障する住居機能について学ぶ。

環境アメニティーⅠ（食環境）

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

生活環境の基礎的要素のひとつである「食」について、東洋医学の側面から学ぶ。

環境アメニティーⅣ（都市環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

健康被害や安全危機をもたらす都市型公害をはじめとする現代都市の諸問題を明らかにし、より快適で健康的な生活環境としての都市のあり方について学ぶ。

環境アメニティーⅡ（モード環境）

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

生活環境の基本的要素の一つである「衣」について理解を深め、より豊かで快適な衣生活のあり方を実践的に学ぶ。

環境アメニティーⅤ（健康科学）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

健康な日常生活を営むために必要な生活活動条件の追求および快適な暮らしを営むための生活環境条件の整備について、主に医学的な視点から実践的に学ぶ。

環境アセスメントⅠ（生活衛生）

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

日常生活において生命や健康を脅かす眼に見えない様々な身体的リスクから身を守り、健康な生活を営むための知識と能力を実践的に身につける。

環境アセスメントⅣ（情報環境）

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

マルチメディア技術の確立に伴う高度情報化社会の問題点と可能性について主として語学習得の場面を対象として学ぶ。

環境アセスメントⅡ（人体環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

人間の生命を支える人体の仕組みと働きについて学び、様々な外的環境要因と人体内部環境との関わりを、ホメオスタシスの視点から実践的に学ぶ。

環境文化創造原理Ⅰ（生命科学）

2・3年環境 後期 選択 2単位

【授業の概要】

現代の生命科学における最先端の研究成果を紹介し、生命現象の科学的な考察によって現代の生活環境が抱える根源的な諸問題を学ぶ。

環境アセスメントⅢ（心理環境）

3・4年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

現代社会の特性となっている、ストレス社会の問題をメンタルヘルスの観点から学ぶ。

環境文化創造原理Ⅱ（心理学）

2・3年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

外的環境の評価の基礎となる人間の認知情報処理および外的環境への対処様式の問題を心理学の観点から学ぶ。

環境文化創造原理Ⅲ（人間工学）

2・3年環境 前期 選択 2単位

【授業の概要】

より快適な生活環境創出のための基礎的な視点と技能を人間工学や応用心理学の観点から学ぶ。

ゲーム・シミュレーション演習

3・4年環境 前期 必修 2単位

【授業の概要】

教育ゲームの体験を通して、環境問題の構造を理解し、その有効な対策の方法について学ぶ。

資料分析法特論

2・3年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

表計算および統計解析ソフト等を利用して、大量のデータの縮約的表現の方法を学ぶ。

環境文化講読演習

3年環境 前期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当し、各論科目及び創造原理科目から各自の関心と選択に沿った領域を選択し、当該分野の専門的テキストや資料を通して、それぞれの専門的な知識を深め、着実な問題意識を身につける。

プレゼンテーション演習

2・3年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

パーソナルコンピュータおよび視聴覚機器を利用して、有効なプレゼンテーションの技能を身につける。

環境文化特殊演習

3年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

専任教員が担当し、各論科目及び創造原理科目から各自が選択した領域において、「環境文化講読演習」で得た問題意識や専門的知識を自己学習のレポートに基づく演習によって具体化する。

環境文化研究Ⅰ

4年環境 前期 必修 2単位

【授業の概要】

「環境文化講読演習」「環境文化特殊演習」における成果を踏まえ、各専任教員の個別指導のもとに各自の研究テーマを設定し、自己学習を深める。

環境文化研究Ⅱ

4年環境 後期 必修 2単位

【授業の概要】

「環境文化研究Ⅰ」における自己学習を踏まえ、各専任教員の個別指導のもとに各自の研究テーマの完成を目指し、卒業研究レポートとして提出する。

環境文化卒業プロジェクト

4年環境 後期 選択 4単位

【授業の概要】

「環境文化研究Ⅰ」で立案し設定したテーマないしは独自に設定した当該領域のテーマを、専任教員の指導のもとに問題意識を深めながら、卒業論文として完成させる。評価は専攻の全専任教員によって行う。

教職課程科目

教職入門

小木曾通男

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

本講義は、教育という職業がどのような意義を持っているのか、学校での教師の職務と役割がどのようなものであるかを、学生の被教育体験を生かしながら具体的に解説する。職務のここの内容について、現在の中学高校の実体を踏まえて詳説する。その上で、今日の学校が抱えている問題解決の方途を、中教審、教課審の答申を学び、求められている教師像を明らかにすることによって教職につくかどうか、自らの適性を見極めて決定する情報と機会を提供したい。

【授業計画】

1. 東西の優れた教育者を取りあげ、教育とは何か、教育者とは何かを考える契機とする。
2. 近代市民社会の教育需要の増大と教員養成についてイギリス、アメリカにおける教員養成の概要及び日本における教員養成を歴史的に概観する。
3. 社会構造の変化の著しい現代社会における教員への期待について地域構造、家族構造、就業構造等の変化に伴い教員の役割の変化と多様化・個性化した保護者・生徒の教員への期待の変化とその対応を考える。
4. 中学校、高等学校における望ましい教員像とは何かを学級担任、教科担任、部活顧問、進路指導、生徒指導において各人の体験をもとに考えてみたい。
5. 信頼される教員とはどんな教員か、生徒の人間性の尊重とは何か、生徒との望ましいコミュニケーションのあり方を考えてみたい。
6. 21世紀の教育を担う教員の在り方を求め、社会の進歩と変化に対応する不断の研修と教育技術の開発により、常に新鮮な教育を行う努力が教員にとって不可欠であることを理解する。

【評価方法】

授業中にテキストに添付した用紙に記載する感想文とレポートによる総合評価とする。

【テキスト】

「教職入門」200円

【参考書籍】

授業時に紹介する。

教育原理

梅村敏郎

1年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

無意図的な形成力とは区別される、意識的・意図的の活動としての教育には、志向すべき明確な目的・目標がある。この目的を規定する要因は、三つであって子どもと子どもが生活している社会的共同体と共同体が保持している文化である。

新生児は、始めは空腹や気候の寒暑による身体的の不快を訴えて「泣き叫ぶ」こと以外には何もできない無力な存在である。しかし、やがて正常な子どもの場合には、両親から遺伝によって受け継いだ素質を土台として感覚器官を初め諸々の能力を発達させる。

しかし、これらの人間の能力の具体的な内容、量・質を規定するのは社会である。社会はその構成員に対して、その社会が重視するような種類の能力を身につけることを要求するだけでなく、その能力の水準をも要求する。これを他面から見れば、諸々の社会には固有の文化があり、社会はこの文化の継承と発展を意図して、社会の次代の構成員にこれを伝達しようとする。人間の各分野の能力は、文化の伝達活動によって訓練され、発達するのである。

この授業では、今日のわが国の、特に初等・中等教育の目的・目標が何に置かれているかを中心として講義する。

【授業計画】

- 1 教職専門科目としての「教育原理」の性格
- 2 古代の教育目的
- 3 中世の教育目的
- 4 近世の教育目的
- 5 近代学校の教育目的

【評価方法】

筆答試験による。

【テキスト】

特定の書物を教科書として使用することはない。

教育制度

梅村敏郎

1年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

近代国家はいずれも自国の文化的伝統の継承と自国の発展のために幼児教育から高等教育にいたる各段階の学校を一つの制度として整備拡大する努力を払っている。

幕藩体制から脱却したわが国も1872年以来、欧米先進国の学校制度に範を取り、学校制度の普及に努めた。以来ほぼ130年の間に、わが国は世界で最も文盲率の少ない、教育の最も普及した国の一つとなった。

この授業ではこの100年余りの歴史の上に成立しているわが国の学校制度を世界の先進国の教育制度と比較しながら、その特徴を把握すると同時に、一世紀以上経過したこの制度がどんな欠陥を持つかを明らかにする。

【授業計画】

- 1 近代世俗国家と学校教育
- 2 現代の先進国の学校制度
 - (1) フランスの学校制度
 - (2) ドイツの学校制度
 - (3) イギリスの学校制度
 - (4) イタリアの学校制度
 - (5) アメリカ合衆国の学校制度
 - (6) ロシアの学校制度
- 3 わが国の近代学校の成立
 - (1) 幕藩体制下の学校
 - (2) 明治の学校改革
 - (3) 第二次大戦後の学校改革
 - (4) 現在の学校制度改革の動向

【評価方法】

評価は学期末の筆答試験による。

【テキスト】

特定の書物を教科書として使用することはない。
必要な資料は、授業中に適宜配布する。

道徳指導法

加藤文子

1年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

道徳の基本原則を学ぶとともに、わが国における今日の道徳教育の在り方に至るまでの変遷を理解し、道徳教育の重要性を認識する。

また学校教育における道徳授業の指導の実際をVTR視聴、模擬授業により体得する。

授業は講義法で進める。授業内容を道徳教育ノートとして配布する。中一種免取得には必修である。

【授業計画】

- 1 道徳と道徳教育
- 2 児童・生徒を生かす道徳教育
- 3 公教育における道徳教育の歴史
 - ・ 明治5年学制公布から明治23年教育勅語発布までの過程
 - ・ 戦後の道徳教育の変遷
- 4 道徳性の発達と学校教育
- 5 学校における道徳教育の実際
 - ・ 道徳教育の目標
 - ・ 道徳教育の内容
 - ・ 「道徳の時間」の指導計画、指導案の作成
 - ・ 模擬授業
 - ・ まとめ

【評価方法】

期末試験の成績に、毎時間の出席状況、授業中の態度、課したレポート内容を加味して総合的に評価する。

【テキスト】

テキストは使用せず。
必要に応じて資料を配布する。

特別活動指導法

小林春治

1年 後期 必修 2単位

【授業の概要】

中学校・高等学校の特別活動の変遷とその具体的な活動として学級活動、ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事についての指導法を考察する。

そのなかで望ましい人間関係、基本的な生活習慣の形成を通して個人及び社会の一員としての在り方、生き方に関する指導の充実を図ることを学習目標とする。

1. 教育課程の位置と目標

特別活動は、各教科、道徳とともに教育課程を構成する領域の一つであり、これらそれぞれの充実と相まって、中学校・高等学校の教育目標を達成することができることを学習する。

2. 戦後の教育状況と教育改革

敗戦直後の教育状況と教育基本法・学校教育法の施行（六・三・三制の実施）にいたる大要を、GHQのとった教育政策にも注目しながら学習する。

3. 特別活動の変遷

特別活動の変遷を中学校・高等学校の学習指導要領を通して論じ、その社会的背景についても具体的な資料に基づいて学習する。また、平成12年度から移行措置がとられている新しい学習指導要領にも言及する。

4. 特別活動の基本となる指導法

中学校の学級活動、高等学校のホームルーム活動が、生徒会活動、クラブ活動、学校行事などと相互に関連していることの学習を通して、これらの集団生活の在り方、心身ともに健康で安全な生活習慣の形成などを基本にした指導法を、現状にも注目しながら考察する。

【授業計画】

必要に応じて資料を配付する。また、より理解を深めて欲しい内容についてレポートの提出を求める。

【評価方法】

期末試験の成績とレポートの評価及び出席率を総合する。

【テキスト】

高等学校学習指導要領解説 特別活動編（文部省 東洋館出版 予価200円）

スポーツ応用（集中授業）

スポーツ応用

松田秀子

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

〈マリンスポーツ・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

〈内容〉

1. 期日

実習 平成12年8月7日（月）～10日（木）
3泊4日

第1回説明会 平成12年5月24日（水）5限目
第2回説明会 平成12年7月5日（水）5限目

2. 場所 ヤマハマリナー浜名湖 静岡県

3. 実習種目

ウェイクボード、ボードセーリング、
セーリングクルザー等

4. 実習費 約74,000円

5. 定員 約20名

- *履修決定後、銀行振込にて徴収します。
- *実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。
- *説明会には必ず参加すること。（やむを得ない場合を除く）

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

スポーツ応用

杉山 和

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

〈ボウリング・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

〈内容〉

1. 期日

実習 平成12年8月17日（木）・18日（金）・
19日（土）・21日（月）・
22日（火）・23日（水）
計6日間 午前のみ

第1回説明会 平成12年5月24日（水）5限目
第2回説明会 平成12年7月5日（水）5限目

2. 場所 星が丘ボウル

3. 実習費 約7,000円

4. 募集人数 約40名

- *最終説明会にて、現金で徴収します。
- *実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。
- *説明会には必ず参加すること。（やむを得ない場合を除く）

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

スポーツ応用

杉山 和

1～4年 前期 選択 2単位

【授業の概要】

〈スクーバダイビング・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

《内容》

1. 期日

プール実習 平成12年8月24日(木)～30日(水)

海洋実習 平成12年9月4日(月)～7日(木)

3泊4日

第1回説明会 平成12年5月24日(水)5限目

第2回説明会 平成12年7月22日(土)午前中

2. 場所

プール実習 ロコダイバーズ 室内プール(一社)

海洋実習 沖縄県 伊江島

3. 諸経費

実習費 約50,000円(講習費、テキスト代、申請料)

用具代 約50,000円(重器材レンタル代、個人器材)

海洋実習費 約40,000円(交通費、宿泊費)

その他 約30,000円(ウェットスーツ)希望者のみ

4. 定員 約20名

*諸経費については、11年度のものでありますので変更になる場合があります。

*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

スポーツ応用

松田 秀子

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

〈スケート・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

《内容》

1. 期日 (実習)

実習 平成13年2月8日(木)・9日(金)・

10日(土)・13日(火)・

14日(水)・15日(木)

6日間 午前のみ

第1回説明会 平成12年11月1日(水)5限目

第2回説明会 平成13年1月10日(水)5限目

2. 場所 名古屋スポーツセンター (大須)

3. 実習費 約7,200円

4. 定員 約40名

*最終説明会にて、現金徴収します。

*実習費に関しては、11年度のものでありますので変更する場合があります。

*説明会には必ず参加すること。(やむを得ない場合を除く)

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。

スポーツ応用

杉山 和

1～4年 後期 選択 2単位

【授業の概要】

〈スキー・集中〉

より高度なスポーツ技術の習得を目標とし、各種スポーツを半期間通して行う。また、スクーバダイビング、スキーなどのシーズンスポーツを集中授業として行う。

【授業計画】

〈内容〉

1. 期日

実習 平成13年2月25日（日）～3月1日（木）
4泊5日の予定

第1回説明会 平成12年11月1日（水）5限目

第2回説明会 平成13年1月10日（水）5限目

2. 場所 長野県 信州菅平高原スキー場

3. 宿泊所 福美津屋旅館

4. 実習費 約40,000円

（宿泊費・交通費・食事代・保険料・雑費）

5. その他の費用

リフト券代 約12,000円（レベルによって異なる）

レンタルスキー（板、ブーツ、ストック） 6,500円

レンタルウェア 4,000円

小物（帽子、手袋、ゴーグル） 1,500円

6. 定員 約40名

7. オプション企画（1日体験）

スノーボード（レンタル、講習費） 6,000円

ヘリスキー（ヘリコプターの搭乗費） 5,500円

スキー検定（検定料） 3,000円

*定員に大きく満たない場合は中止になります。

*実習費及びその他の費用に関しての料金は、11年度のものでありますので、変更になる場合があります。

*説明会には必ず参加すること。（やむを得ない場合を除く）

【評価方法】

1. 実習中の技術の上達度と、実習に対する取り組み方。
2. 実習期間中、欠席した場合は単位が認められません。

司書課程科目

図書館情報学概論 a・b

村主朋英

1年 前・後期 必修 各2単位

【授業の概要】

この科目は、図書館情報学に関する学習の基礎固めのためのものである。前半は、図書館情報学における基本的な考え方および分野の特徴について概説する。後半は、図書館・情報サービスの実際に関して、最低限知っておくべき事項を紹介し、今後の学習への指針を提供する。

【授業計画】

1. 情報と知識の研究と実務に関わる分野
2. 情報の概念
3. 情報の流通過程
4. 図書館の機能と構造
5. 情報流通の実際
6. 情報サービスと人間
7. まとめ：人とメディアのつくる宇宙の中で

【評価方法】

前期：定期試験

後期：定期試験と夏休みレポート

※なお「図書館情報学概論 a」の単位を取得済でない学生については、「同 b」の単位は認定しない。また、前期末に夏休みレポート課題を提示するので、今年度「同 b」のみ履修予定の学生は問い合わせること。

【テキスト】

『図書館情報学用語辞典』日本図書館学会用語辞典編集委員会編 丸善 約3,800円

他学科開放科目

ドイツ語 a・b

浜田義孝

1年 前・後期 選択 各2単位

【授業の概要】

ドイツ語の基礎を習得することを目標とする。

ドイツ語は英語と同じく西ゲルマン語から出た言語で類似点も多いが、英語に比べてかなり保守的で、面倒な語形変化などがある。しかし一見やっかいそうな文法もいったん慣れてしまえば、かえって語句の関係が明確であり構文の把握も容易になる。

言葉は何よりもまず音声であるから、初めにドイツ語の発音に慣れること。そのためには教師（あるいはテープ）のドイツ語をよく聞いて、積極的に口を動かして真似ること。こうして繰り返し反復練習することによって、基本的なドイツ語の語句や言い回しになじみ、やさしい文を覚えていけば、週一回という短時間の学習でも、ドイツ語の基礎をマスターできるでしょう。

またドイツ語の学習を通してドイツ語圏の生活と文化に触れることもできる。

【授業計画】

テキストは、全12課で各課とも基本的な文法事項、練習問題、そしてドイツの学生生活をテーマにした読本（ディアロック）で構成されている。

また別冊問題集を宿題として課し、二三週毎に提出してもらい添削する。

【評価方法】

授業での平常点と期末試験の成績を総合して評価する。

【テキスト】

いかがですか大学生活（森田／田村／川上共著 朝日出版社）

フランス語 a・b

清水ベアトリックス

1年 前・後期 選択 各2単位

【授業の概要】

この授業は初級者を対象とし、フランス語の習得だけでなく、フランスの風俗、文化、習慣も「味わいながら」学ぶことを意図する。担当講師はフランス語の授業を通じて受講者の対仏国理解を深める手助けをすることを切に望む。

前期

日本で出版された平易なフランス語テキスト（CD付き）、漫画、ポップス、ビデオなどを使用する。

前期には、テキストの目次に沿って進み、フランス人講師が直接教えるので、受講者は「フランスに浸り」、「純粋な」フランス語の発音と文法の基礎を身に付ける。

できる限り前期では、下記の文法を学ぶ：

発音、名詞の『性』と『数』、冠詞、不定詞と動詞の活用；直接法現在形、疑問文：疑問代名詞と疑問形容詞、否定文、品質形容詞。

後期

前期に引き続き同じテキストを使用し、より高レベルの文法・語彙を学ぶ。しかし、特にコミュニケーションに重点を置くので、「純粋なフランスの環境」の中で簡単な作文を書いたり、寸劇をすることにより、受講者自身の考えをフランス語で表現する能力を養成することを主目的とする。

後期では、下記の文法事項を学ぶ：

目的語となる人称代名と強勢形、指示形容詞、所有形容詞、冠詞の縮約、半過去、複合過去。

【授業計画】

毎回学んだフランス語を会話練習に積極的に使用するとともに、文法を体系的に学んだり、平易なフランス語の文章を和訳する。

【評価方法】

定期試験を重視するが、宿題、出席率、受講態度なども考慮に入れる。

【テキスト】

Mini de concert (Centre Franco-Japonais d'Osaka 朝日出版)

ロシア語 a・b

杉本一直

1年 前・後期 選択 各2単位

【授業の概要】

みなさん、知っていますか？日本の大学のなかでロシア語を学ぶことができる場所は本当に少ないんですよ。ということは、「ロシア語がわかる人」は日本ではとても希少価値があるのです！「芸術の国ロシア」の言葉を今すぐ学んでみませんか？

この授業では、初歩のロシア語を学びながらロシアの芸術や文化や街について楽しく紹介していきます。映画の鑑賞会もありますから、楽しみにしててくださいね。

【授業計画】

初級のわかりやすい辞書を「テキスト」として授業を進めてきます。まず、例の不思議な形をしたキリル文字を覚え、発音を覚え、そのあとは辞書で遊び(?)ながら「使える単語」「使えるフレーズ」を集めていきます。たくさんたくさん集めたら、あれ、いつのまにかロシア語の達人！

辞書以外に補助教材として会話用プリントを配布します。学ぶ項目は以下のとおりです。

- a. キリル文字と発音
- b. 大きな声であいさつしよう
- c. 買い物に行ってみよう
- d. 乗り物に乗ろう
- f. おなががすいたら...
- g. 自分について話してみよう
- h. 好きな音楽について
- i. 手紙を書こう (本当にロシアへ送るぞ！)

【評価方法】

定期試験の成績による。

【テキスト】

「パスポートロシア語辞典」(白水社)

英語コミュニケーション10

ドイル, ダグラス・L.

1~4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

The objective of this course is to revise and augment students' knowledge of English vocabulary and non-verbal features, as well as developing their speaking, listening, reading and writing skills. Students who opt for this course will be expected to be able and highly motivated. Students who are less able will be expected to be extra-highly motivated.

【Assessment】

Assessment will be based on a combination of the following: general classroom performance (continually assessed) general standard of homework (continually assessed) and by examination.

【Textbooks】

Text: To be advised.

英語コミュニケーション11

ロング, ジョナサン・E.

1~4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

Students who meet the prerequisites will in the class have to meet the challenges of reading scripts in English, watching the videos without subtitles, discussing them in English and writing reaction papers about them.

Usually, three weeks will be allowed for each video:

Week 1 : script

Week 2 : video

Week 3 : discussion; homework: reaction paper

【Assessment】

Assessment will be based on attendance, class participation using English and the reaction papers.

【Textbooks】

none.

英語コミュニケーション12

ダイカス, ディビッド・C.

1~4年 前・後期 選択 2単位

【Course Content】

This course will focus on skills and techniques needed for informative and persuasive writing and presentations, especially for business purposes. An important focus will be on recognizing and understanding the differences in rhetorical patterns between Japanese and English. Students will study how to gather, evaluate, and organize information, and assignments will include writing informative and persuasive essays and making presentations and speeches based on the information gathered.

The course be topic/theme oriented. Students will read about, discuss, research and write about these topics. Written work will provide the basis for presentations. Writing practice will include the study of paragraph organization and effective presentation and support of ideas in written English. Once this level of writing is mastered, we will move on to longer pieces of writing. Presentation skills will be studied as well. These will include techniques for public speaking and the effective use of visual aids.

【Schedule】

As described above, the course will move from basic organization and presentation of ideas in short pieces of writing to essays and presentations based on their content.

【Assessment】

Grading will be based on attendance and participation, homework assignments, and in-class presentations.

【Textbooks】

To be announced

特別講座科目

英語海外セミナー

石橋千鶴子 ロング, ジョナサン・E.

1～4年 前期 必修 2単位

【授業の概要】

ウエスト・バージニア大学が本学のために用意する英語研修プログラム。現地キャンパスにおいて実施される。ESL専門教員が担当する約4週間の集中授業のほかに、小旅行、ホームステイ、在学生との交流などが用意されている。すべてを終了すれば、本学の単位が与えられる。本年は、8月下旬から9月下旬の約1ヶ月間を予定している。定員は約40名。

【評価方法】

ウエスト・バージニア大学授業担当者の評価による。